

さ　ど　わら　ちよう　ない　い　せき
佐土原町内遺跡 V

開発事業に伴う事前試掘・確認調査報告書

2002. 3

宮崎県宮崎郡佐土原町教育委員会

序

佐土原町は、中世期から江戸期にかけて伊東氏・島津氏の支配地として栄え、町内には当時の面影を残す歴史的遺産が数多く残されています。これらの遺産を多くの人々に知っていただき、様々な交流の場として活用していただきたいと考えています。

そうした状況の中、佐土原町教育委員会では、諸開発と文化財保護とが共存できるように平成元年度から2年度にかけて作成された、「佐土原町遺跡詳細分布調査報告書」に基づいて事業実施の事前に試掘・確認調査を行い、遺跡の保存に努めてまいりました。

平成9年度から12年度にかけて「町内遺跡Ⅰ～Ⅳ」を発刊してまいりましたが、ここに、平成12・13年度実施しました町内の試掘・確認調査の結果を「町内遺跡Ⅴ」として報告いたします。

この報告書が、佐土原町の歴史を知る礎となること、また、学術資料はもとより文化財への理解・認識を深める一助となり、広く教育・研究の場等でご活用いただければ幸いに存じます。

最後になりましたが、調査にあたり関係各位よりいただきましたご指導・ご協力に対しまして心よりお礼申し上げます。

平成14年3月

佐土原町教育委員会

教育長 菊 池 俊 彦

例　　言

1. 本書は、各種開発事業に伴い佐土原町教育委員会が文化庁・宮崎県教育委員会の補助を受け実施した町内遺跡の試掘・確認調査の報告書である。
2. 試掘・確認調査は、各種開発事業主の依頼を受け佐土原町教育委員会が主体となり、平成12・13年度に社会教育課文化財係が行った。
3. 試掘・確認調査は、平成13年3月19日から平成14年3月31日までの期間行った。
4. 本書で使用した位置図などは、国土地理院発行の2万5千分の1図を基に作成した。
5. 出土遺物は、佐土原町教育委員会（佐土原町出土文化財管理センター）で保管している。
6. 色調は、農林水産省農林水産技術会議事務局監修「新版 標準土色帖」による。
7. 方位は磁北、レベルは海拔高である。
8. 本書の執筆・編集は、社会教育課文化財係主査 木村明史が担当した。

本文目次

第1章 はじめに	
第1節 調査に至る経緯	2
第2節 調査の組織	2
第2章 佐土原町の環境と調査地の概要	
第1節 佐土原町の環境	2
1. 自然環境	2
2. 歴史的環境	3
第2節 調査の目的	3
第3節 各遺跡の位置と環境の概要	3
1. 佐土原城跡外堀跡	3
2. 後田第3遺跡	3
3. 境畠遺跡	3
4. 小牧遺跡	3
第3章 試掘・確認調査	
第1節 佐土原城跡外堀跡	4
第2節 後田第3遺跡	11
第3節 境畠遺跡	19
第4節 小牧遺跡	28
第4章 おわりに	34

挿図目次

第1図 平成12・13年度町内遺跡試掘・確認調査地	1
第2図 佐土原城跡外堀跡調査区図	4
第3図 後田第3遺跡調査区図	11
第4図 境畠遺跡調査区図	19
第5図 小牧遺跡調査区図	28

図版目次

図版1 佐土原城跡外堀跡調査地	5
図版2 佐土原城跡外堀跡調査地平面図	6
図版3 佐土原城跡外堀跡出土状況、出土遺物	7
図版4 佐土原城跡外堀跡土層断面図	8
図版5 佐土原城跡外堀跡遺物写真	9
図版6 佐土原城跡外堀跡遺物実測図	10
図版7 後田第3遺跡調査地及び遺構検出状況	12
図版8 後田第3遺跡調査地平面図	13
図版9 後田第3遺跡土層断面図	14
図版10 後田第3遺跡土層断面図	15
図版11 後田第3遺跡土層断面図	16
図版12 後田第3遺跡土層断面図	17
図版13 後田第3遺跡遺物写真、実測図	18
図版14 境畠遺跡調査地及び土層	20
図版15 境畠遺跡調査地平面図	21
図版16 境畠遺跡土層断面図	22
図版17 境畠遺跡土層断面図	23
図版18 境畠遺跡土層断面図	24
図版19 境畠遺跡土層断面図	25
図版20 境畠遺跡土層断面図	26
図版21 境畠遺跡遺物写真、実測図	27
図版22 小牧遺跡調査地及び土層	29
図版23 小牧遺跡調査地平面図	30
図版24 小牧遺跡土層断面図	31
図版25 小牧遺跡土層断面図	32
図版26 小牧遺跡土層断面図	33



第1図 平成12・13年度町内遺跡試掘・確認調査地

この地図は、基盤地図の承認を得て、同院発行の5万分の1地図を縮小したものである。(承認番号:平5・九種第7号)

第1章 はじめに

第1節 調査に至る経緯

今回の報告書（佐土原町内遺跡V）は、平成12年度実施の佐土原城跡外堀跡と平成13年度実施の後田第3遺跡、境畠遺跡、小牧遺跡の試掘・確認調査の報告である。それぞれの調査について、事前の事業説明が行われ、開発予定地の試掘・確認調査を行い、調査結果を関係者に報告した。以下その内容である。

第2節 調査の組織

平成12年度

調査主体 佐土原町教育委員会 教育長 菊池 俊彦
社会教育課長 郡司 利文
同課長補佐 河越 弘明
庶務担当文化財係長 東 浩一郎
〃 主査 黒木 直英
〃 主事 櫛間 史朗
調査担当主査 木村 明史
佐土原城跡歴史資料館長 赤木 達也
出土遺物整理員 増田 道子（8月まで）・田中 智子・一色 尚子
山口千恵美・黒木登季子（10月から）

平成13年度

調査主体 佐土原町教育委員会 教育長 菊池 俊彦
社会教育課長 松崎 直彦
同課長補佐 年見 秀雄
庶務担当文化財係長 東 浩一郎
〃 主査 黒木 直英
〃 主事 櫛間 史朗
調査担当主査 木村 明史
佐土原城跡歴史資料館長 赤木 達也
出土遺物整理員 田中 智子・日高 尚子・山口千恵美（7月まで）
黒木登季子・庄境 美紀（9月から）

第2章 佐土原町の環境と調査地の概要

第1節 佐土原町の環境

1. 自然環境

佐土原町は、北に一つ瀬川、東に日向灘、南に宮崎市、西に西都市と国富町が接し面積56.84km²を有する。町内の地形としては、北西部に都於郡・仲間原台地があり、その南に一段低い船野台

地が位置し、その南東に年居台地が東西方向に長く延びている。また、仲間原台地の北側には鹿野田・上田島丘陵が存在する。一つ瀬川沿いには、川に沿って東西に低地が形成され、町の海岸には砂丘がみられる。

2. 歴史的環境

佐土原町は、旧石器時代より人の営みがあり、弥生時代には伊賀給遺跡において稻作が行われていたことが確認された。古墳時代では土器田東1号横穴墓において極めて珍しい線刻画が見つかった。この線刻画は非常に残念なことに国道10号線バイパスの開通により消失してしまった（レプリカを西都原資料館に展示）。その他にも佐土原町古墳、那珂村古墳、広瀬村古墳など多数存在しており、約150基近くが県指定となっている。

平安時代から中世期には、巨田八幡の創建、伊東氏の日向支配など佐土原が日向地方の中心として栄え始める。その後、天正から慶長にかけて島津家久（宗家第15代貴久の子）とその子豊久が佐土原城主として佐土原を治めるが、関ヶ原の戦いで豊久が戦死したため佐土原は一時天領となる。慶長8年（1603）に島津以久（宗家第15代貴久の弟、忠将の子）が佐土原3万石の初代藩主として封ぜられてから、第10代忠寛までの約270年間、佐土原藩として再び島津家に治められることとなった。

中世から江戸期の間、佐土原には多くの寺院が建立されたが、廢仏毀釈により廃寺になったものもある。その中で、大光寺・高月院などは現在に至るまで残っている。

近代には、日向の中心は現在の県都宮崎市へと移っていくが、西南の役に出兵し戦死した島津啓次郎や、西郷札の製作所など歴史に残る出来事は多い。

現代に入ると、工場の操業開始や工業団地へのハイテク産業の誘致など、産業活動が活発に行われるようになってきた。

第2節 調査の目的

県営や町、民間の各種整備事業に伴い開発事業と文化財保護との調和を図り、事業を円滑に推進するために遺跡の試掘・確認調査を行う。

第3節 各遺跡の位置と環境の概要

1. 佐土原城跡外堀跡

佐土原城跡外堀跡は、現在の追手川とほぼ一致していたと考えられる。調査は都市下水路整備事業区内である約1,500m²で実施した。

2. 後田第3遺跡

後田第3遺跡は、宝塔山の北西裾部に位置する。現在の状況は水田であり、水はけの悪い湿地状態となっている。調査は約93m²の範囲で実施した。

3. 境畠遺跡

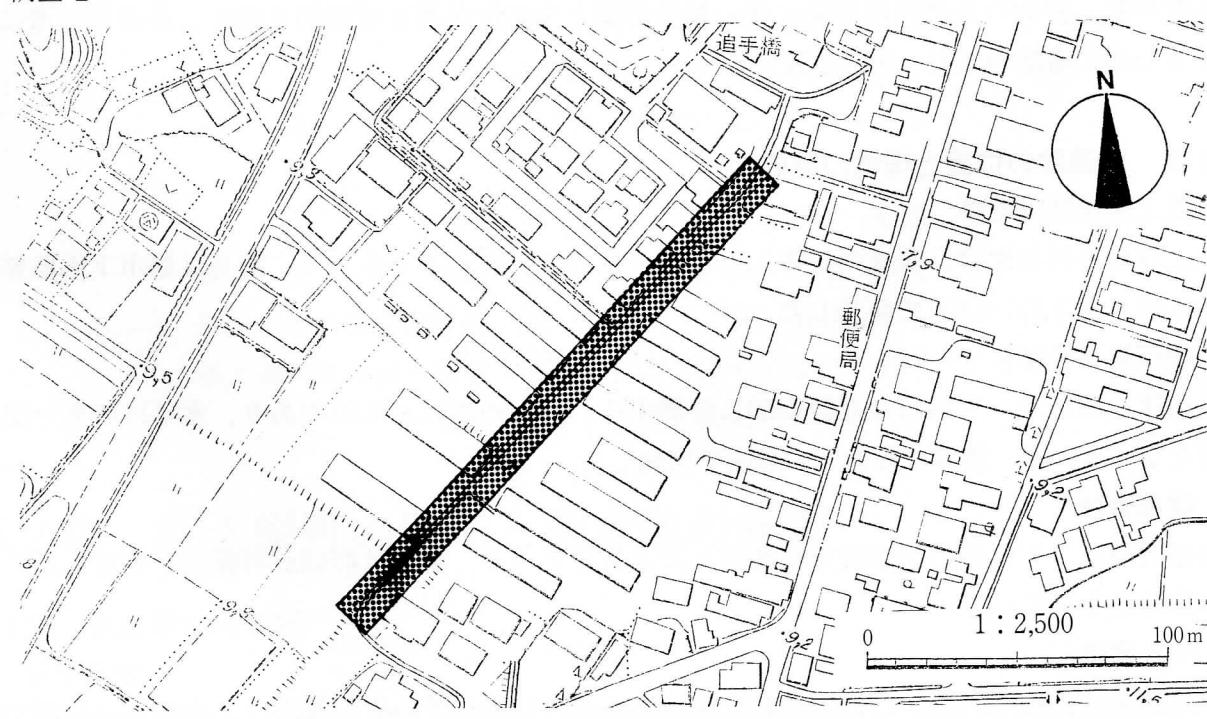
境畠遺跡は、下村川の河岸段丘堆積物上に立地している。調査は約42m²の範囲で実施した。現在は畠地となっている。

4. 小牧遺跡

小牧遺跡は、石崎川西岸の佐土原丘陵南側縁辺部に位置している。調査は、約40m²の範囲で実施した。

第3章 試掘・確認調査

第1節 佐土原城跡外堀跡

市町村名	佐土原町	調査主体	佐土原町教育委員会	調査担当者	木村 明史		
遺跡名	佐土原城跡外堀跡		所在地	佐土原町大字上田島			
調査原因	追手都市下水路整備事業		調査面積	約1,500m ² (トレーナー面積: 20m ²)			
調査期間	平成13年3月19日～ 平成13年3月28日		調査後の処置	埋土			
遺跡の種別	城館		遺跡の主な時代	中世～近世			
検出遺構	堀						
出土遺物	瓦片（2点） 陶磁器片（6点）						
特記事項	<p>調査は、佐土原城下図に外堀として図示されている部分の約200mで実施した。調査の結果、堀の底と肩の部分は検出されなかったが、これは当時の堀の規模が大きかったためと考えられる。堆積層は5層に区分され、下層の4・5層から瓦、陶磁器が出土した。</p> <p>5層は堀を廃棄したときの埋土、3・4層は自然堆積層、2層は水田耕作、1層は整地されているといった状況を観察することができた。</p>						
調査地							

第2図 佐土原城跡外堀跡調査区図



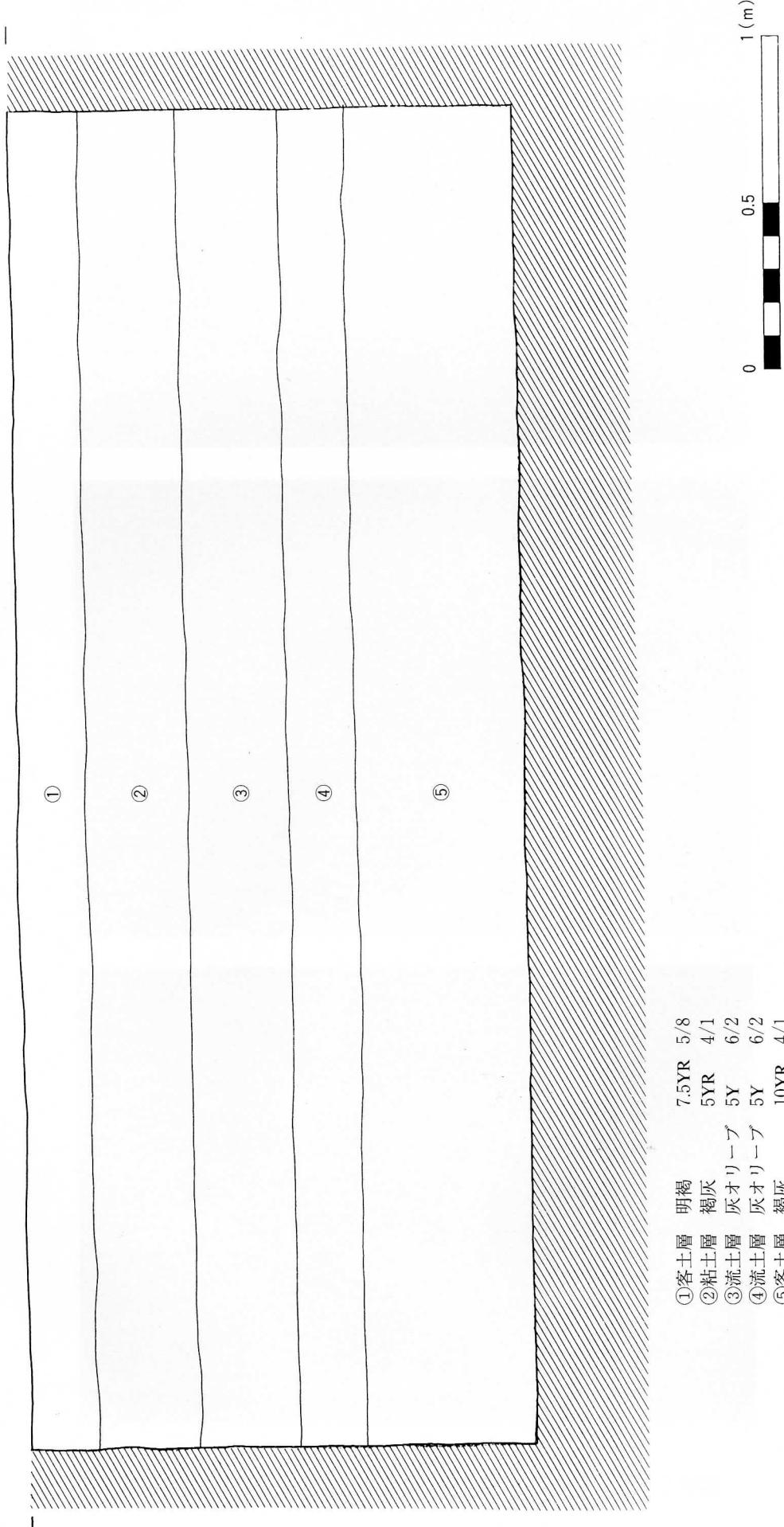
図版1 佐土原城跡外堀跡調査地



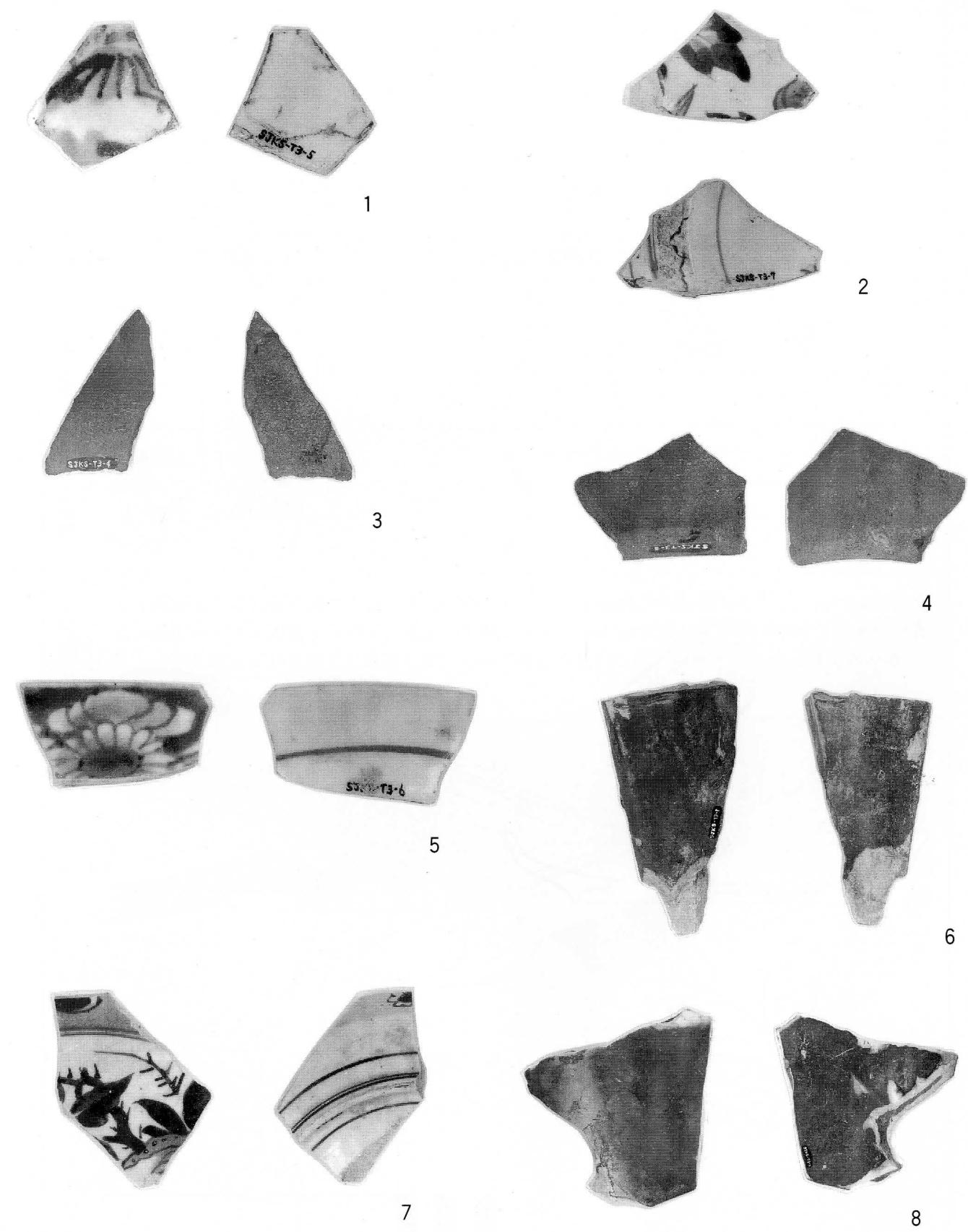
図版2 佐土原城跡外堀跡調査地平面図
—7 土層断面方向



図版3 佐土原城跡外堀跡出土状況、出土遺物（北東方向撮影）

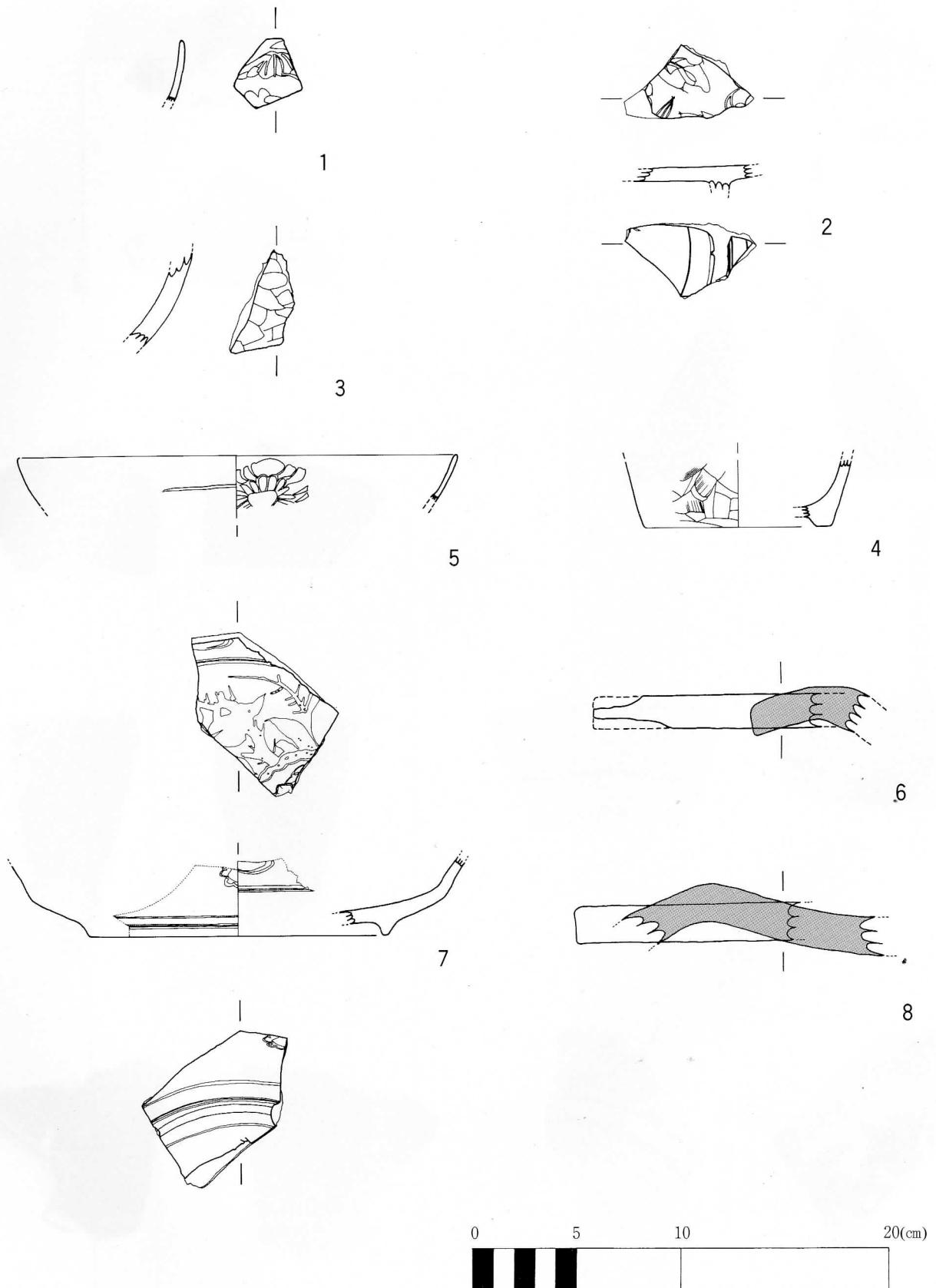


図版4 佐土原城跡外堀跡土層断面図



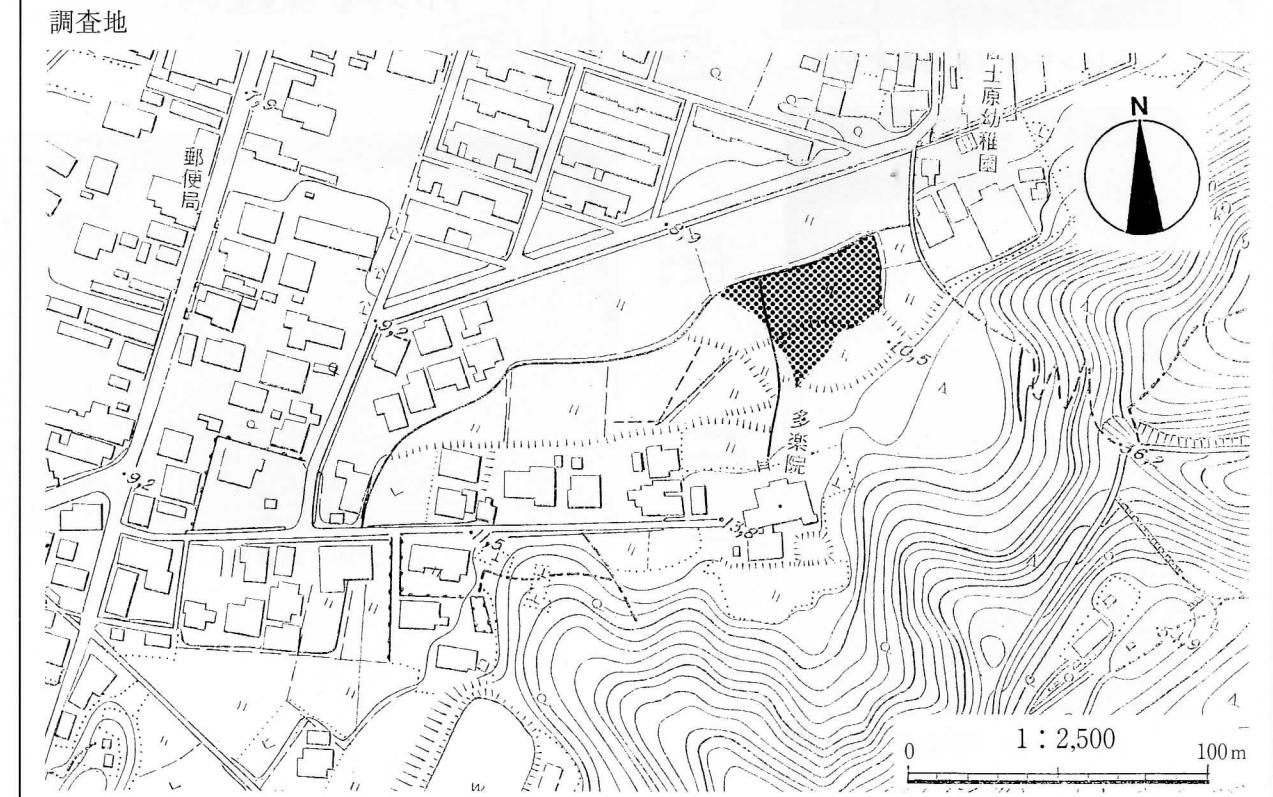
図版5 佐土原城跡外堀跡遺物写真 (1・2・5・7:食膳具、3・4:鉢、6・8:棟瓦)

第2節 後田第3遺跡

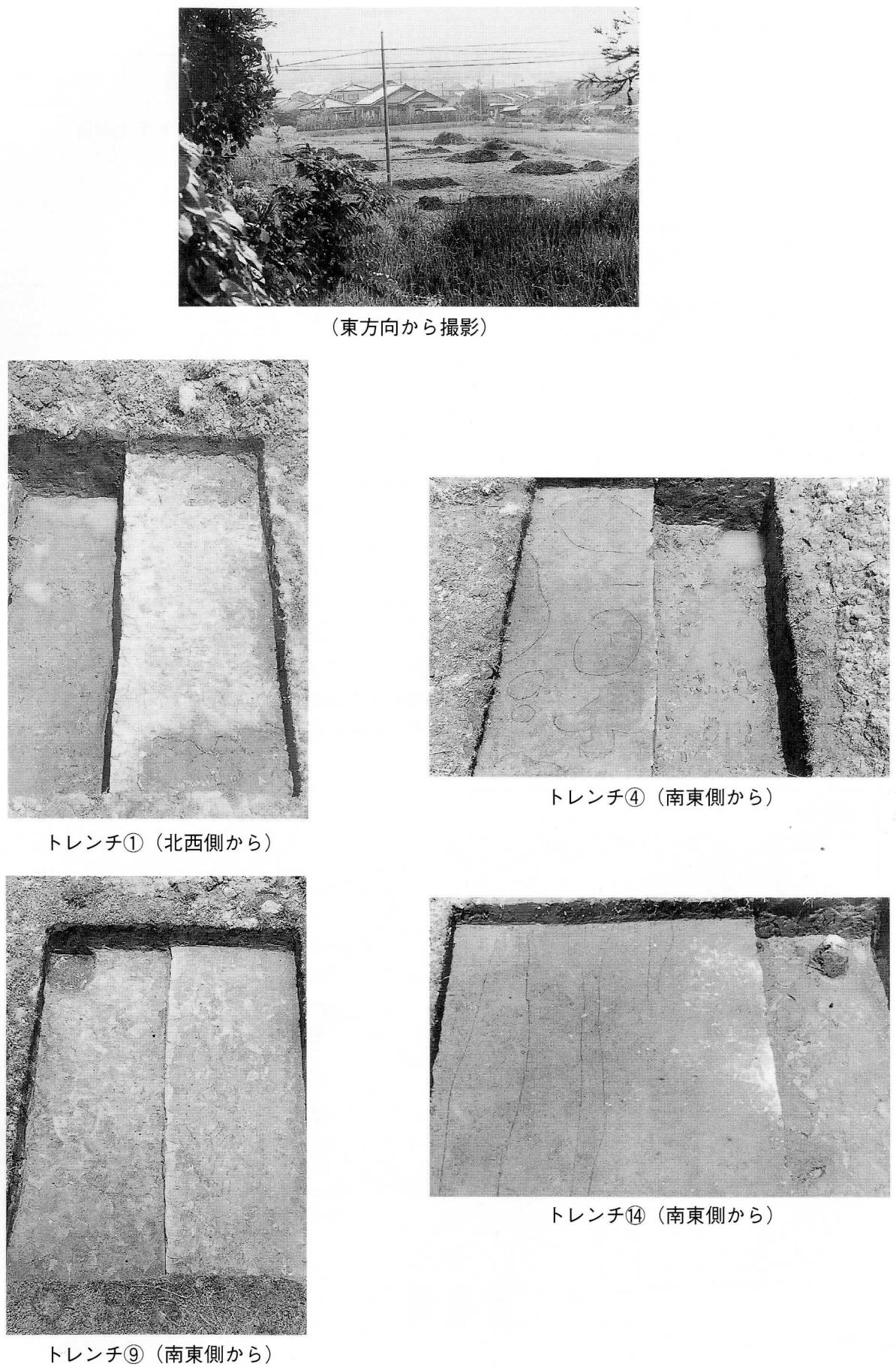


図版6 佐土原城跡外堀跡遺物実測図

市町村名	佐土原町	調査主体	佐土原町教育委員会	調査担当者	木村 明史
遺跡名	後田第3遺跡			所 在 地	佐土原町大字上田島
調査原因	民間宅地造成			調査面積	約93m ²
調査期間	平成13年6月4日～ 平成13年6月18日			調査後の処置	消滅
遺跡の種別	散布地			遺跡の主な時代	中・近世
検出遺構	なし				
出土遺物	陶磁器片（3点） 陶器片（1点） 須恵器片（1点） 土師器片（1点）				
特記事項	当調査地の南側後背地にある宝塔山の裾がいくつにも開析され谷を形成する。谷へは雨天時に山頂部から水が流入するので、流水の経路にあたる箇所は生活を営むには不向きな条件である。当調査地も谷の流路上に位置しているので生活を営むには不適切であったと考えられる。				

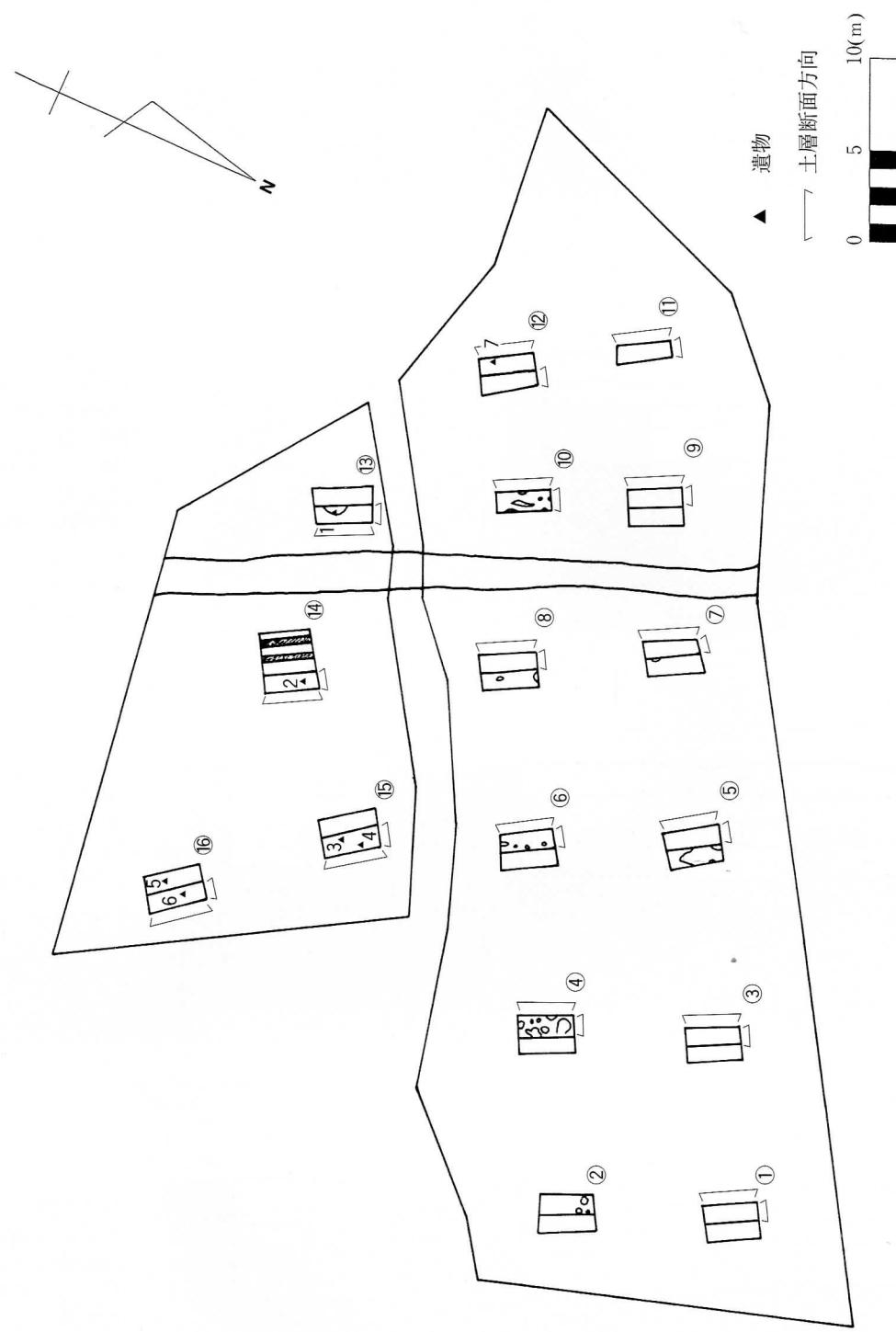


第3図 後田第3遺跡調査区図



図版7 後田第3遺跡調査地及び遺構検出状況

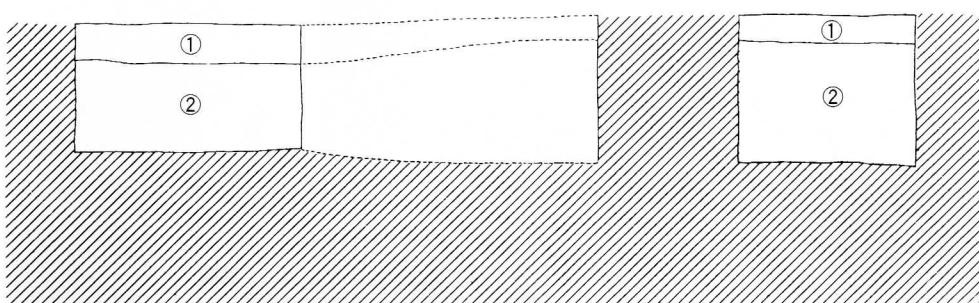
— 12 —



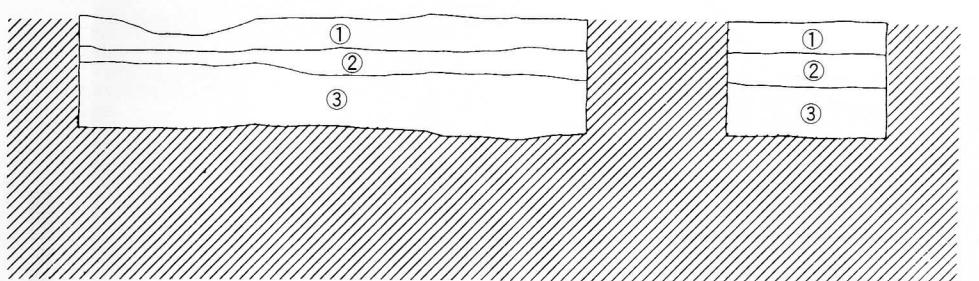
図版8 後田第3遺跡調査地平面図

— 13 —

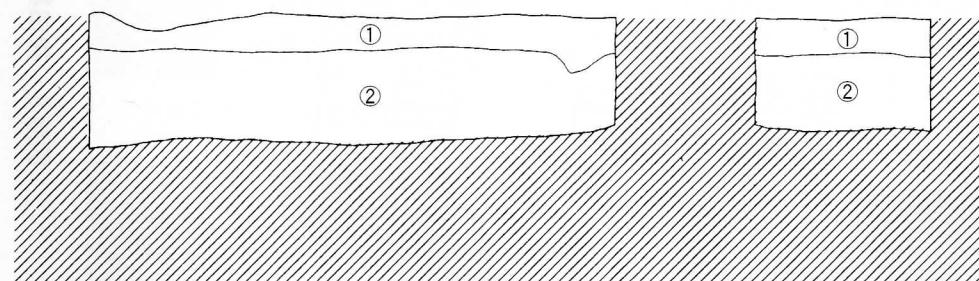
①



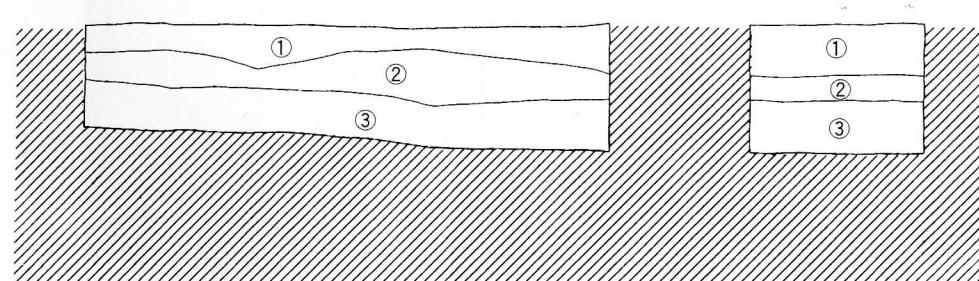
③



④



⑤

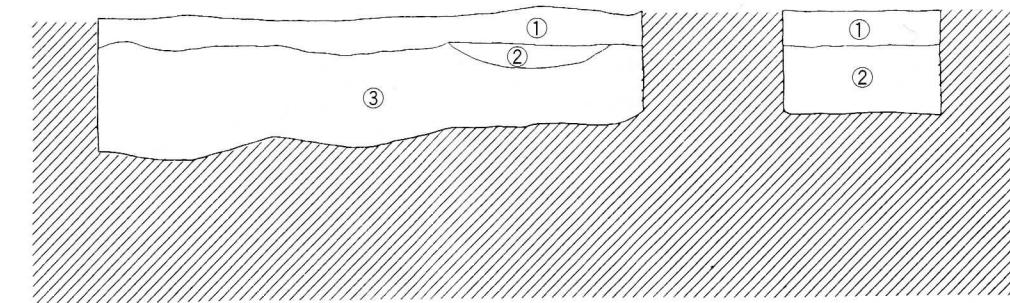


*トレンチ②は崩壊

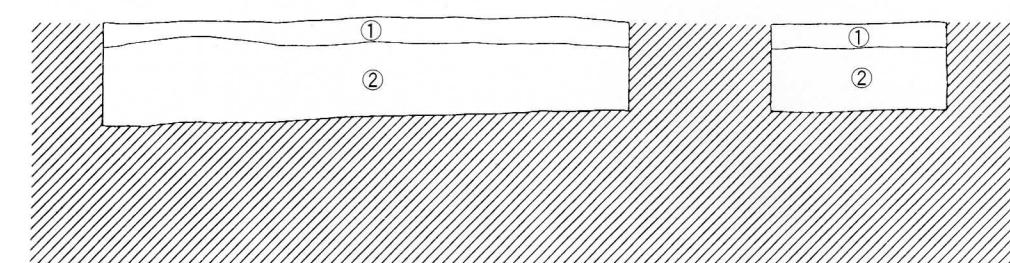


図版9 後田第3遺跡土層断面図

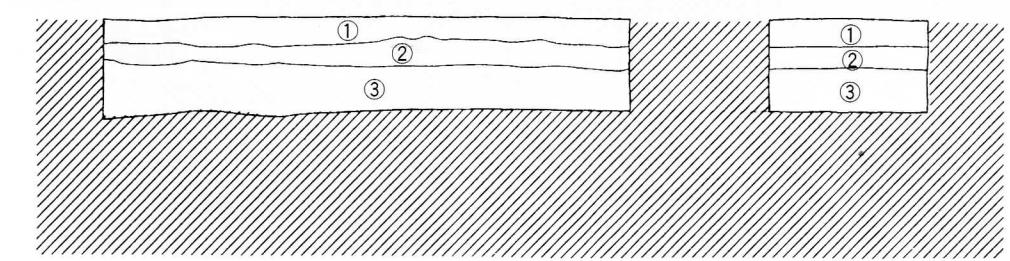
⑥



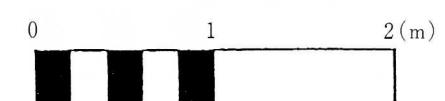
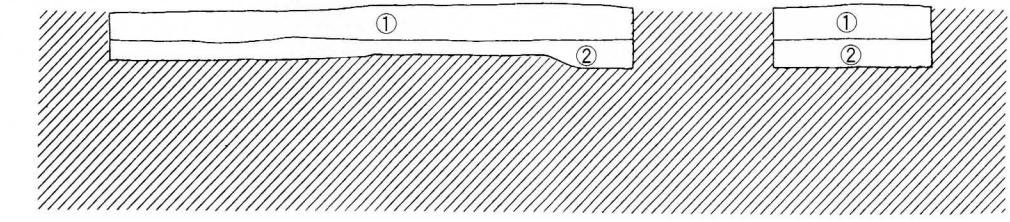
⑦



⑧

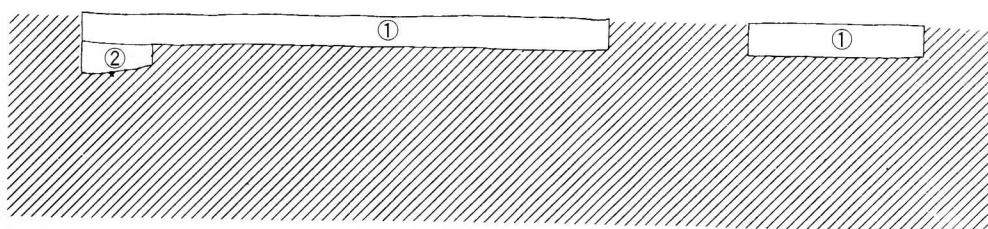


⑨



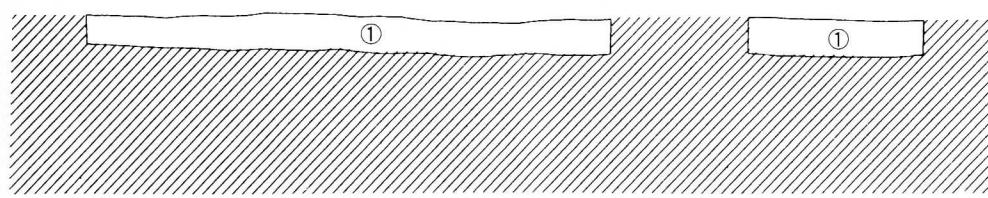
図版10 後田第3遺跡土層断面図

⑩



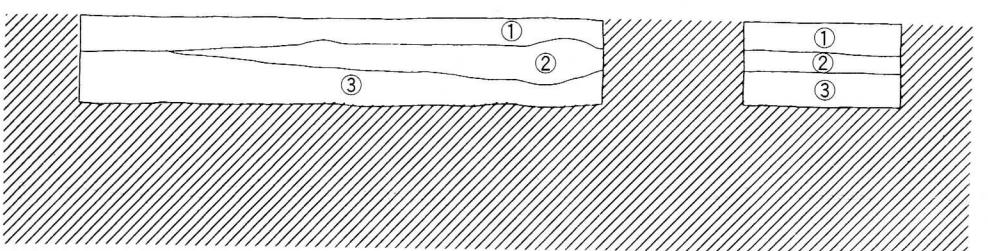
- ①耕作土層
暗灰黃 2.5Y 4/2
- ②粘土層
橙 7.5YR 6/8

⑪



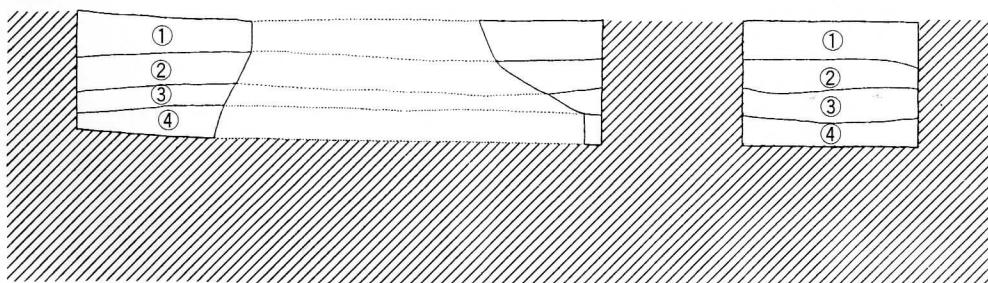
- ①耕作土層
暗灰黃 2.5Y 4/2

⑫



- ①耕作土層
暗灰黃 2.5Y 4/2
- ②粘土層
橙 7.5YR 6/8
- ③粘土層
明黃褐 10YR 6/6

⑬

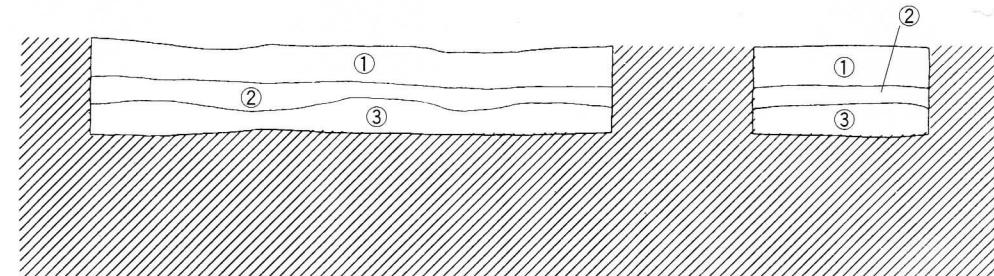


- ①耕作土層
暗灰黃 2.5Y 4/2
- ②粘土層
橙 7.5YR 6/8
- ③粘土層
明黃褐 10YR 6/6
- ④粘土層
黃褐 2.5Y 5/3



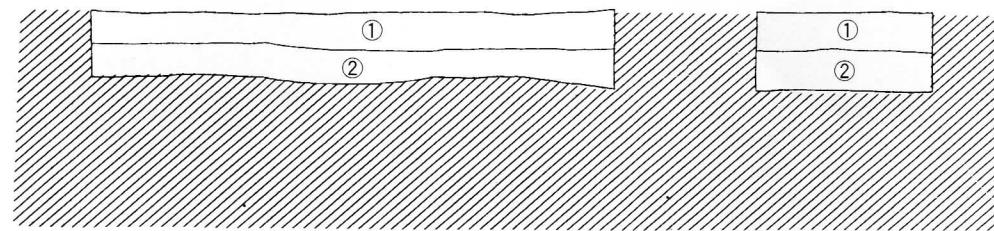
図版11 後田第3遺跡土層断面図

⑭



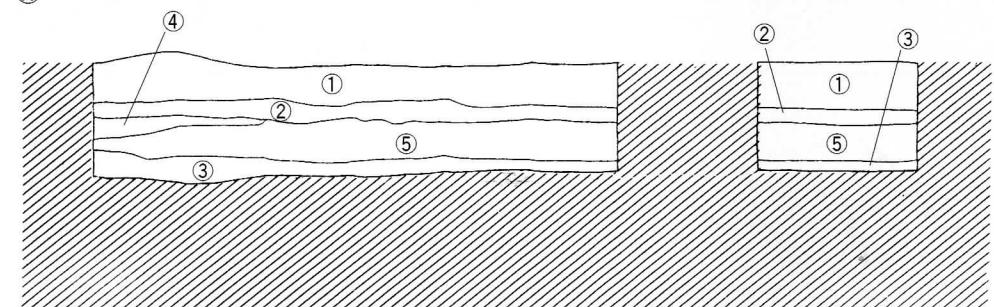
- ①耕作土層
暗灰黃 2.5Y 4/2
- ②粘土層
橙 7.5YR 6/8
- ③粘土層
明黃褐 10YR 6/6

⑮

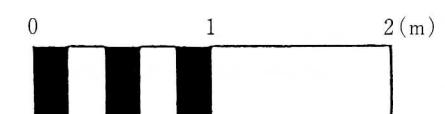


- ①耕作土層
暗灰黃 2.5Y 4/2
- ②粘土層
橙 7.5YR 6/8

⑯

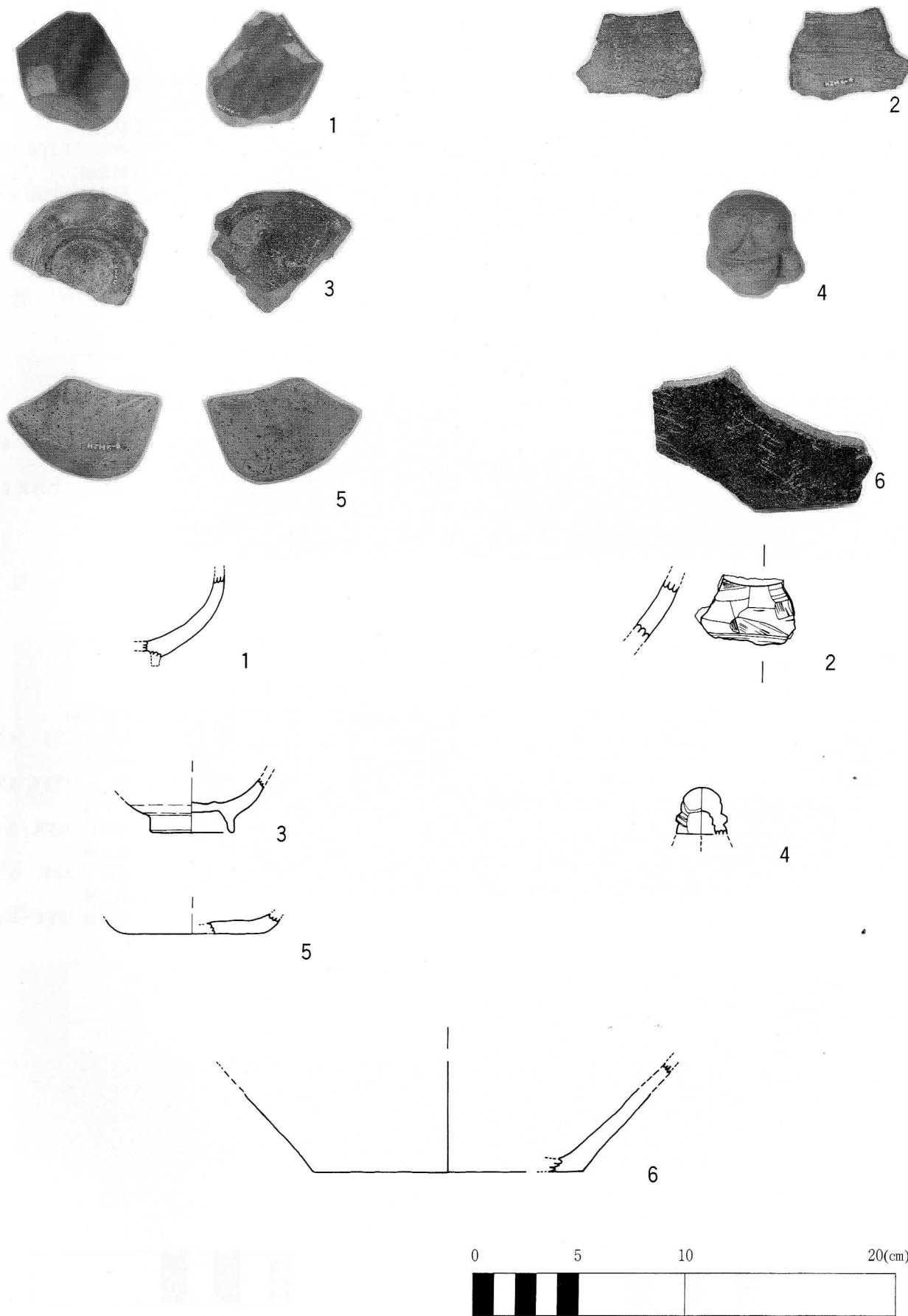


- ①耕作土層
暗灰黃 2.5Y 4/2
- ②粘土層
橙 7.5YR 6/8
- ③粘土層
明黃褐 10YR 6/6
- ④粘土層
黃褐 2.5Y 5/3
- ⑤粘土層
灰黃褐 10YR 5/2



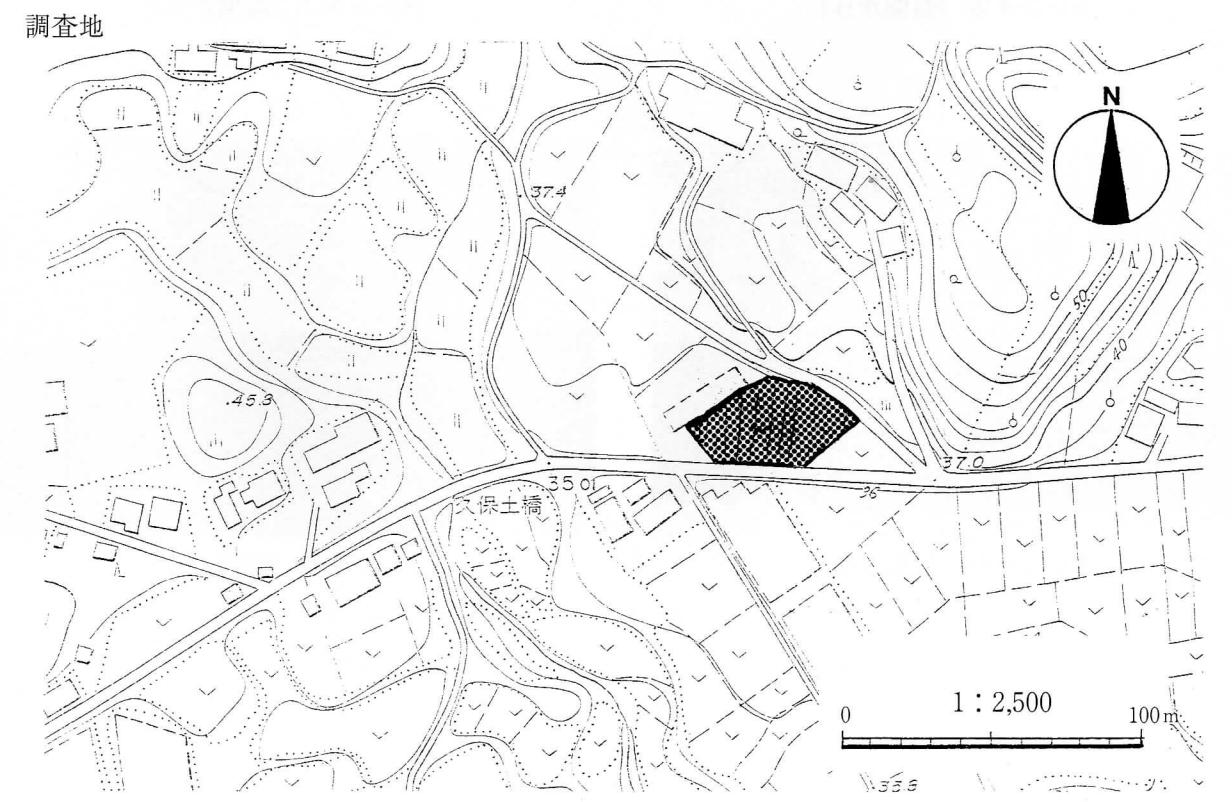
図版12 後田第3遺跡土層断面図

第3節 境畠遺跡

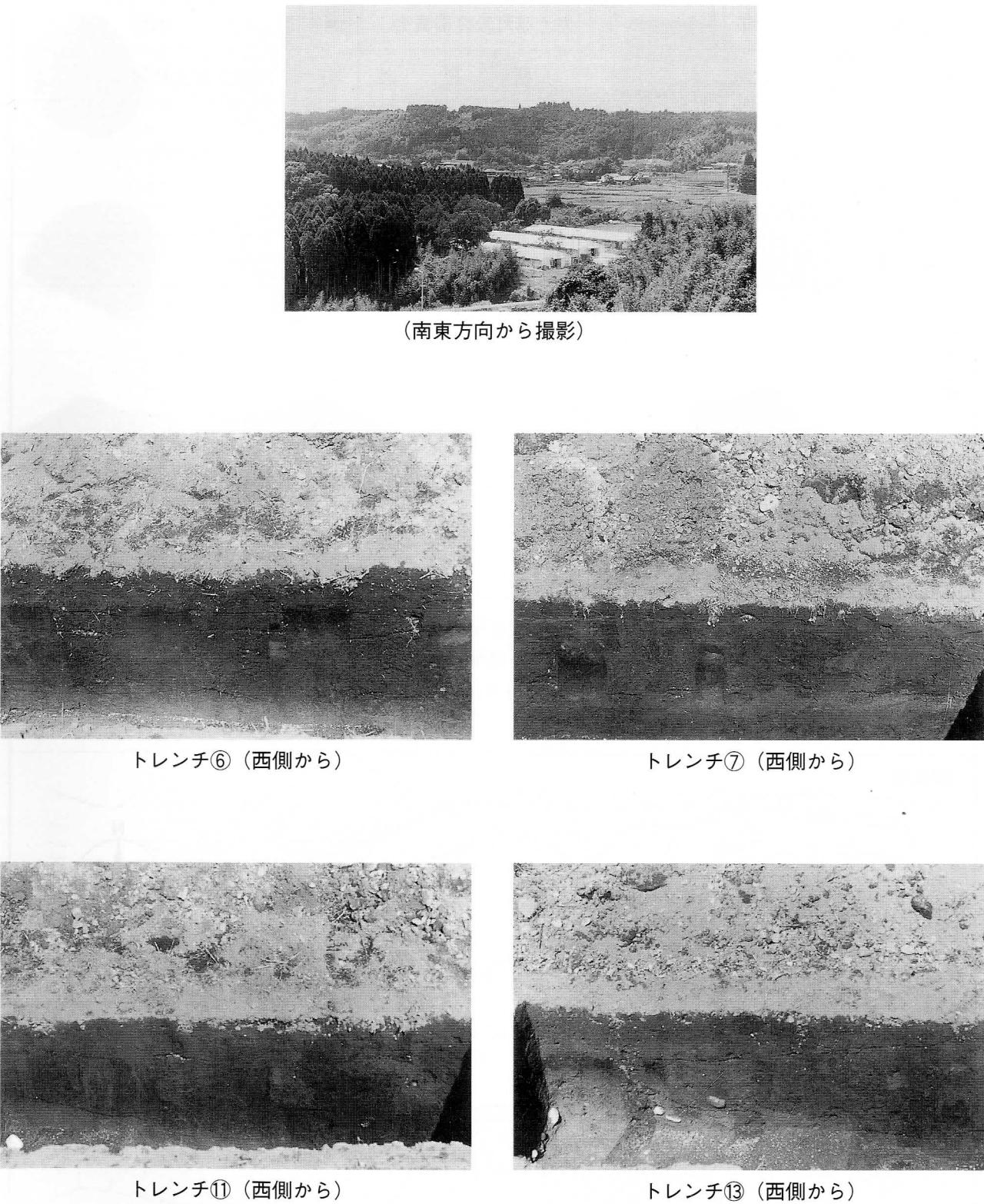


図版13 後田第3遺跡遺物写真実測図（1～3：食膳具、4：花瓶耳（把手）、5：皿、6：深皿）

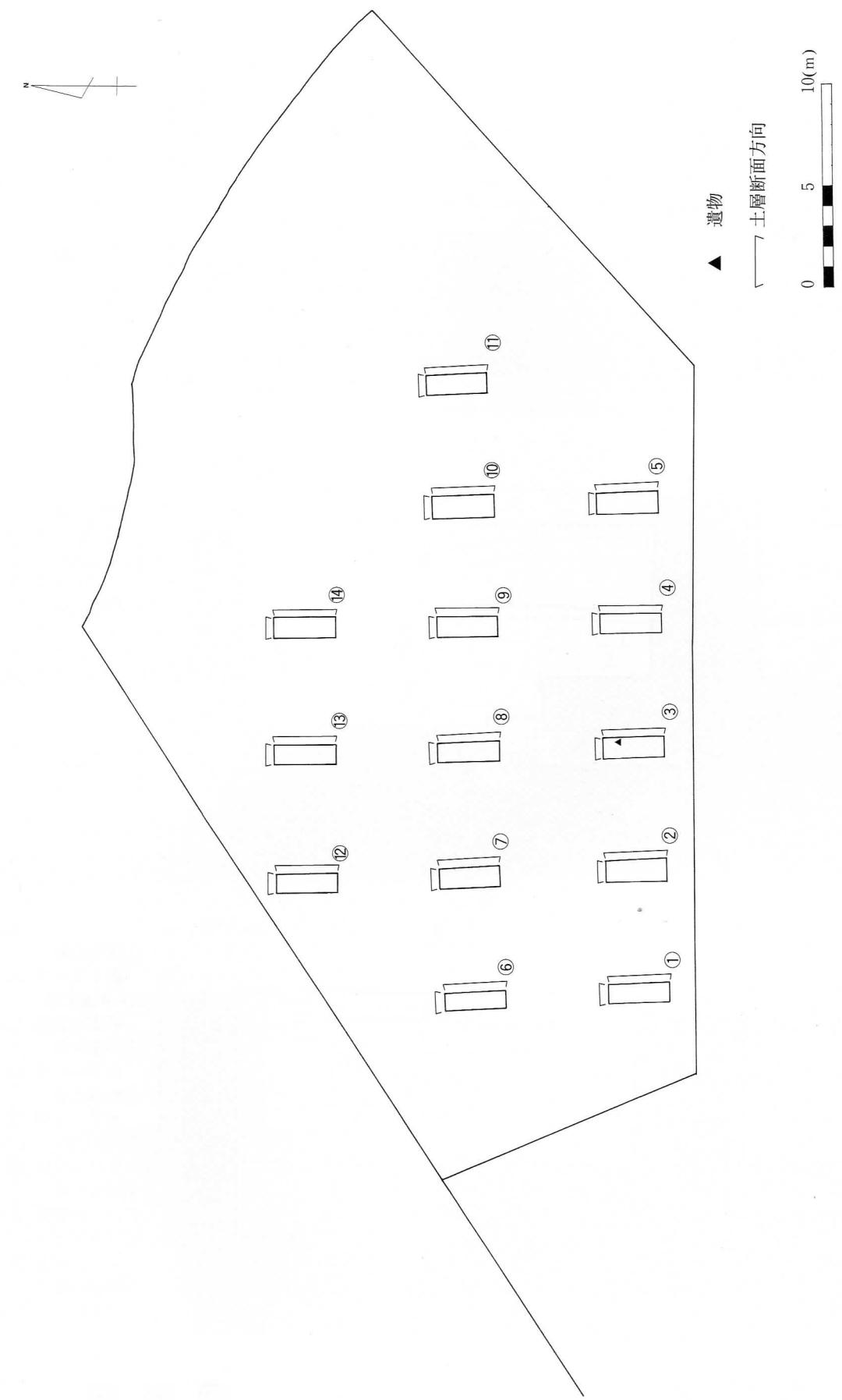
市町村名	佐土原町	調査主体	佐土原町教育委員会	調査担当者	木村 明史
遺跡名	境畠遺跡	所在地	佐土原町大字西上那珂		
調査原因	民間宅地造成	調査面積	約42m ²		
調査期間	平成13年7月2日～ 平成13年7月19日	調査後の処置	消滅		
遺跡の種別	散布地	遺跡の主な時代	—		
検出遺構	なし				
出土遺物	陶器片（1点）				
特記事項	船野台地と仲間原台地の間を刻んだ谷底を下村川が流れ、両岸の河岸段丘堆積物上に境畠遺跡が位置している。堆積物は、基盤岩の宮崎層群・佐土原層上に沖積層の礫・砂・泥が重なっている。今回の調査では、礫面が1～1.5mの深さで検出された。				



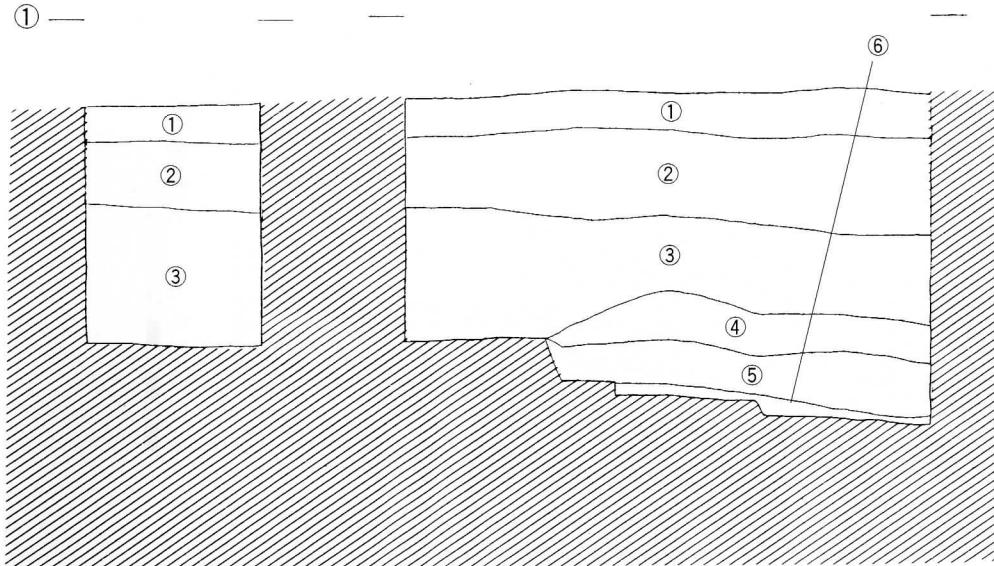
第4図 境畠遺跡調査区図



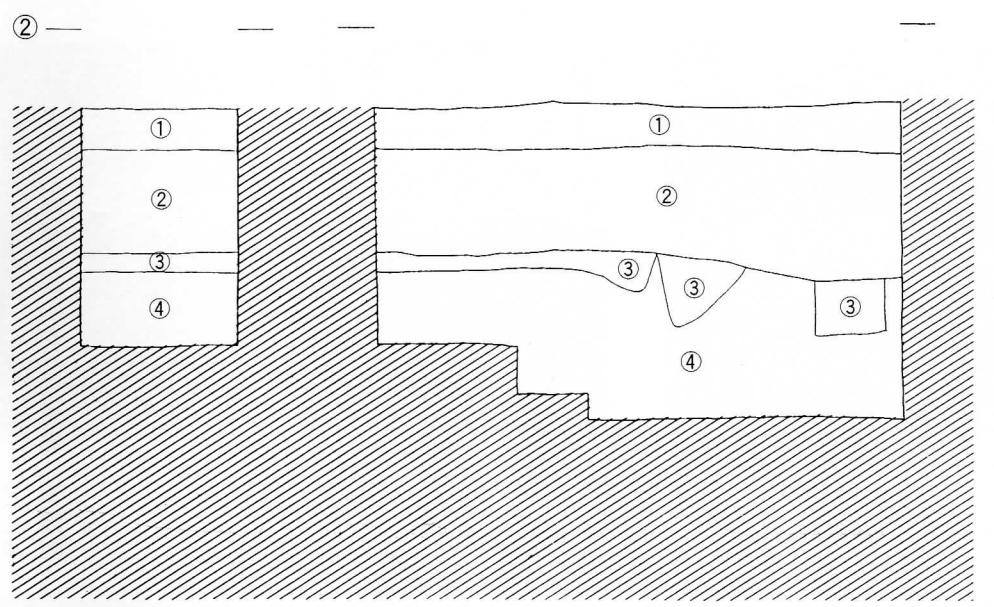
図版14 境畠遺跡調査地及び土層



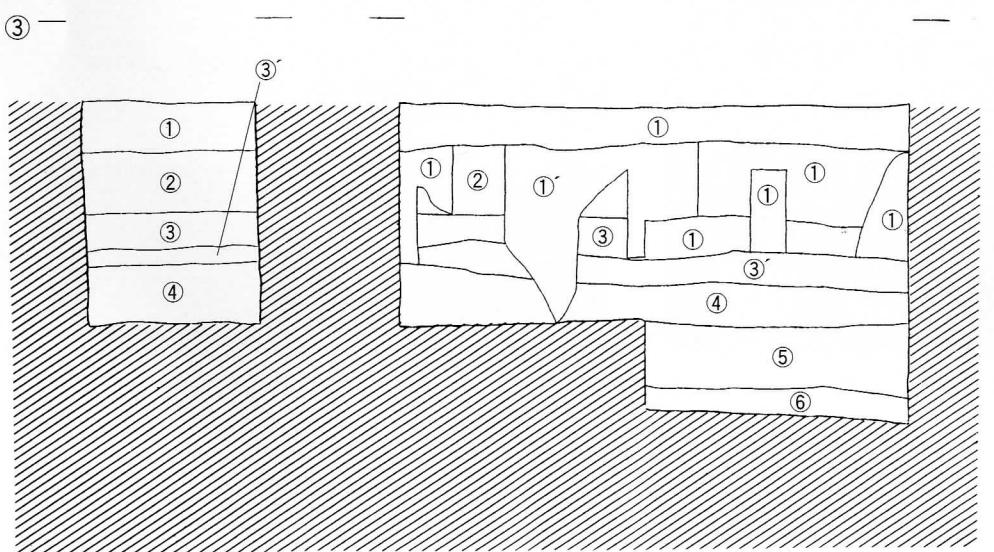
図版15 境畠遺跡調査地平面図



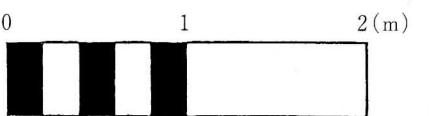
①耕作土層 暗オリーブ 5Y	4/3
②砂壤土層 オリーブ黒 5Y	3/2
③砂壤土層 オリーブ黒 5Y	2/2
④砂壤土層 にぶい黄褐 10YR	5/4
⑤砂壤土層 オリーブ黒 5Y	3/2
⑥砂壤土層 明黄褐	2.5Y 6/6



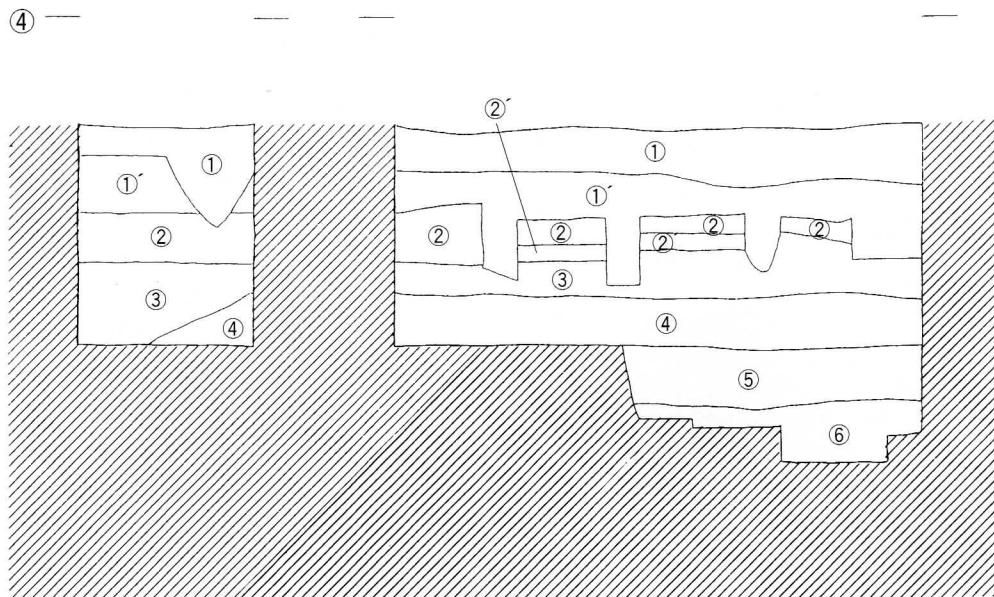
①耕作土層 暗オリーブ 5Y	4/3
②砂壤土層 オリーブ黒 5Y	3/2
③砂壤土層 オリーブ黒 5Y	2/2
④砂壤土層 にぶい黄褐 10YR	5/4
⑤砂壤土層 オリーブ黒 5Y	3/2
⑥砂壤土層 明黄褐	2.5Y 6/6



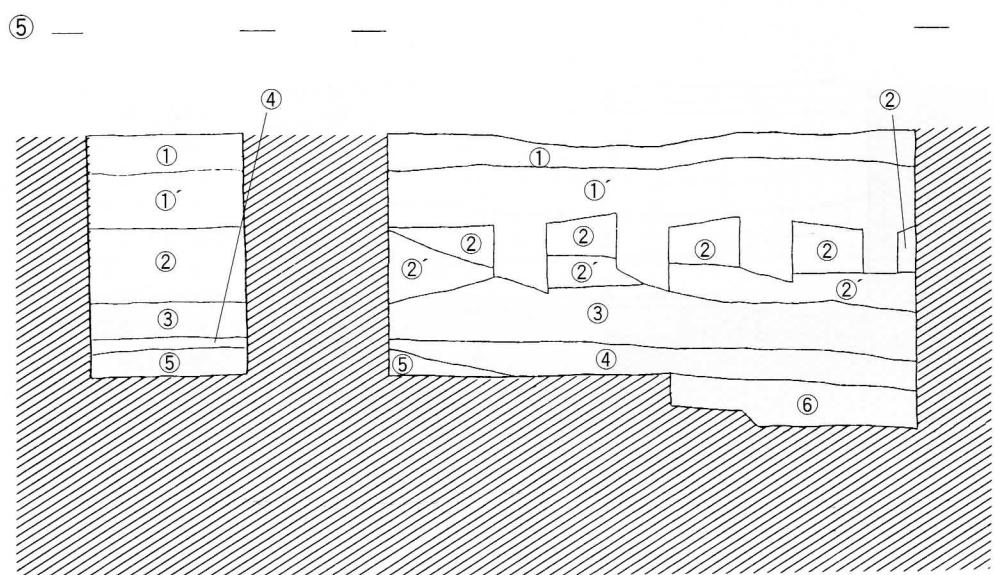
①耕作土層 暗オリーブ 5Y	4/3
②砂壤土層 にぶい黄褐 10YR	5/4
③砂壤土層 オリーブ黒 5Y	3/2
④砂壤土層 オリーブ黒 5Y	2/2
⑤砂壤土層 オリーブ黒 5Y	3/2
⑥砂壤土層 明黄褐	2.5Y 6/6



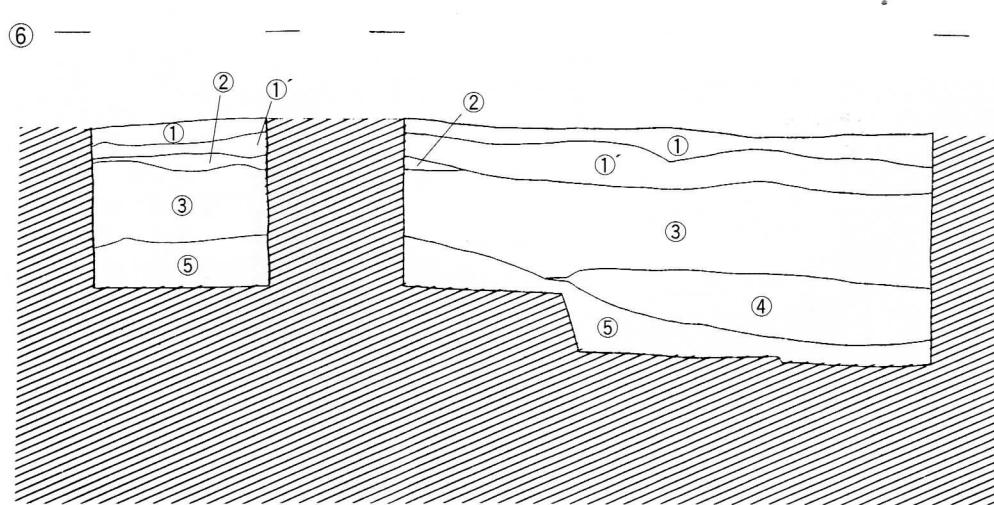
図版16 境畠遺跡土層断面図



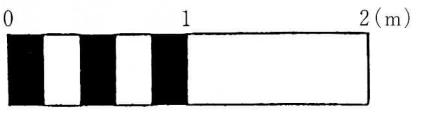
①耕作土層 暗オリーブ 5Y	4/3
①'砂壤土層 にぶい黄褐 10YR	5/4
②砂壤土層 オリーブ黒 5Y	3/2
②'粘土層 オリーブ黒 5Y	2/2
③砂壤土層 オリーブ黒 5Y	2/2
④砂壤土層 にぶい黄褐 10YR	5/4
⑤砂壤土層 オリーブ黒 5Y	3/2
⑥砂壤土層 明黄褐	2.5Y 6/6



①耕作土層 暗オリーブ 5Y	4/3
①'砂壤土層 にぶい黄褐 10YR	5/4
②砂壤土層 オリーブ黒 5Y	3/2
②'粘土層 オリーブ黒 5Y	2/2
③砂壤土層 オリーブ黒 5Y	2/2
④砂壤土層 にぶい黄褐 10YR	5/4
⑤砂壤土層 オリーブ黒 5Y	3/2
⑥砂壤土層 明黄褐	2.5Y 6/6

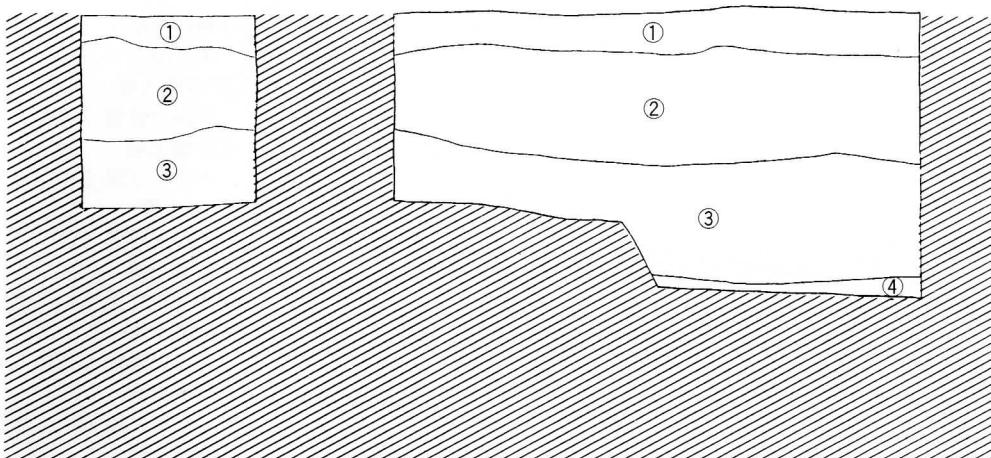


①耕作土層 暗オリーブ 5Y	4/3
①'砂壤土層 にぶい黄褐 10YR	5/4
②砂壤土層 オリーブ黒 5Y	3/2
③砂壤土層 オリーブ黒 5Y	2/2
④砂壤土層 にぶい黄褐 10YR	5/4
⑤砂壤土層 オリーブ黒 5Y	3/2



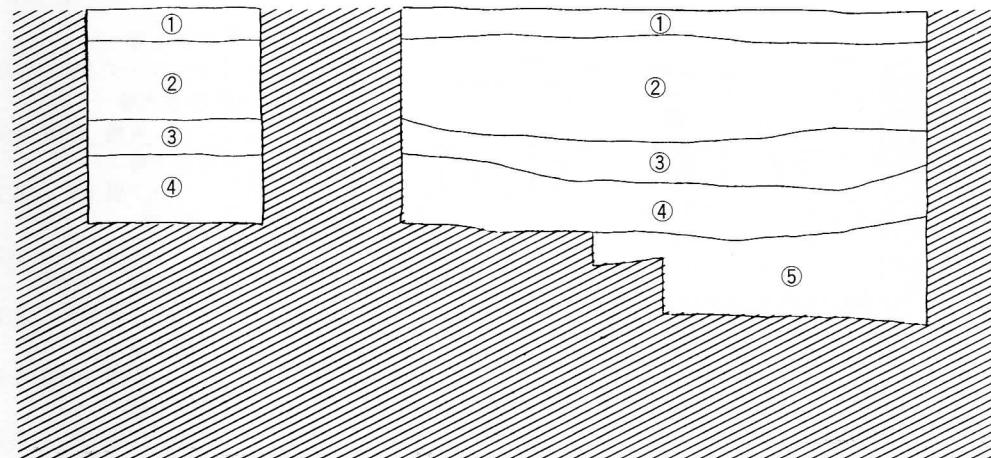
図版17 境畠遺跡土層断面図

⑦



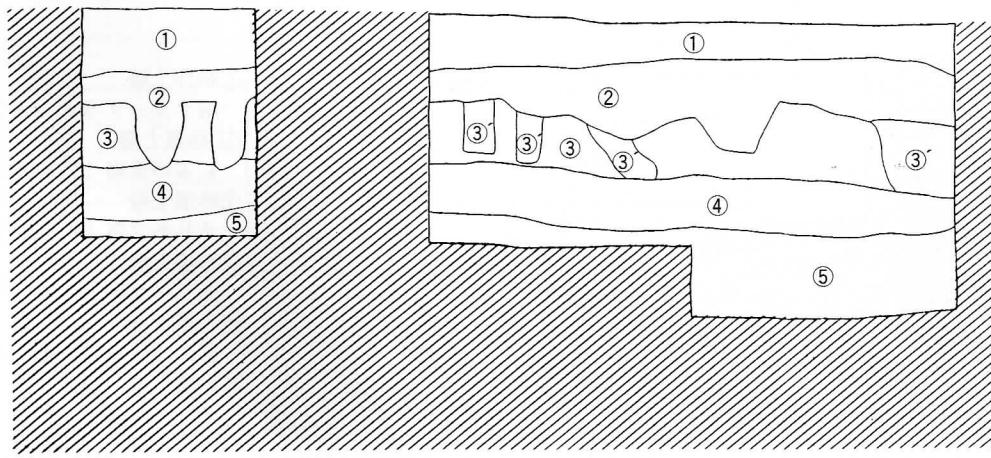
- | | |
|-------|----------|
| ①耕作土層 | |
| 暗オリーブ | 5Y 4/3 |
| ②砂壤土層 | |
| オリーブ黒 | 5Y 3/2 |
| ③砂壤土層 | |
| オリーブ黒 | 5Y 2/2 |
| ④砂壤土層 | |
| にぶい黄褐 | 10YR 5/4 |

⑧



- | | |
|-------|----------|
| ①耕作土層 | |
| 暗オリーブ | 5Y 4/3 |
| ②砂壤土層 | |
| オリーブ黒 | 5Y 3/2 |
| ③砂壤土層 | |
| オリーブ黒 | 5Y 2/2 |
| ④砂壤土層 | |
| にぶい黄褐 | 10YR 5/4 |
| ⑤砂壤土層 | |
| オリーブ黒 | 5Y 3/2 |

⑨

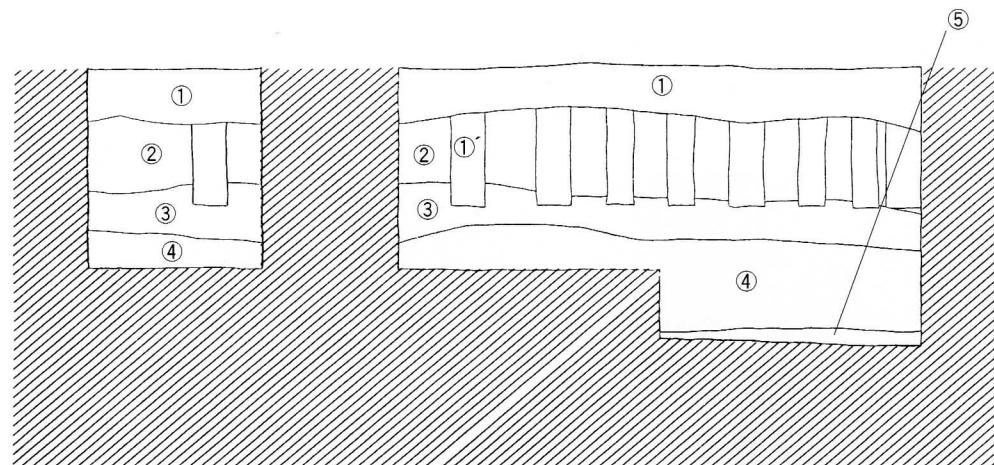


- | | |
|-------|----------|
| ①耕作土層 | |
| 暗オリーブ | 5Y 4/3 |
| ②砂壤土層 | |
| オリーブ黒 | 5Y 3/2 |
| ③砂壤土層 | |
| オリーブ黒 | 5Y 2/2 |
| ③'粘土層 | |
| オリーブ黒 | 5Y 3/1 |
| ④砂壤土層 | |
| にぶい黄褐 | 10YR 5/4 |
| ⑤砂壤土層 | |
| オリーブ黒 | 5Y 3/2 |



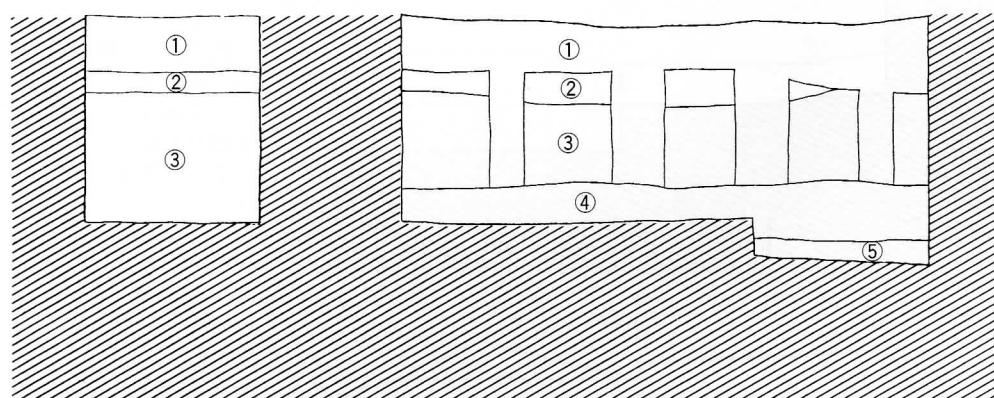
図版18 境畠遺跡土層断面図

⑩



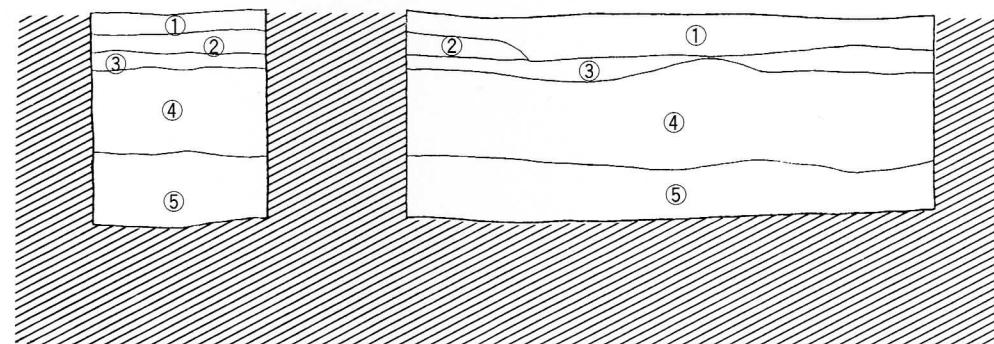
- | | |
|--------|----------|
| ①耕作土層 | |
| オリーブ褐 | 2.5Y 4/3 |
| ①'砂壤土層 | |
| にぶい黄褐 | 10YR 5/4 |
| ②砂壤土層 | |
| オリーブ黒 | 2.5Y 3/2 |
| ③砂壤土層 | |
| にぶい黄褐 | 10YR 5/4 |
| ④砂壤土層 | |
| オリーブ黒 | 5Y 3/2 |
| ⑤砂壤土層 | |
| 明黄褐 | 2.5Y 6/6 |

⑪



- | | |
|-------|----------|
| ①耕作土層 | |
| オリーブ褐 | 2.5Y 4/3 |
| ②砂壤土層 | |
| オリーブ黒 | 5Y 3/2 |
| ③砂壤土層 | |
| にぶい黄褐 | 10YR 5/4 |
| ④砂壤土層 | |
| オリーブ黒 | 5Y 3/2 |
| ⑤砂壤土層 | |
| 明黄褐 | 2.5Y 6/6 |

⑫

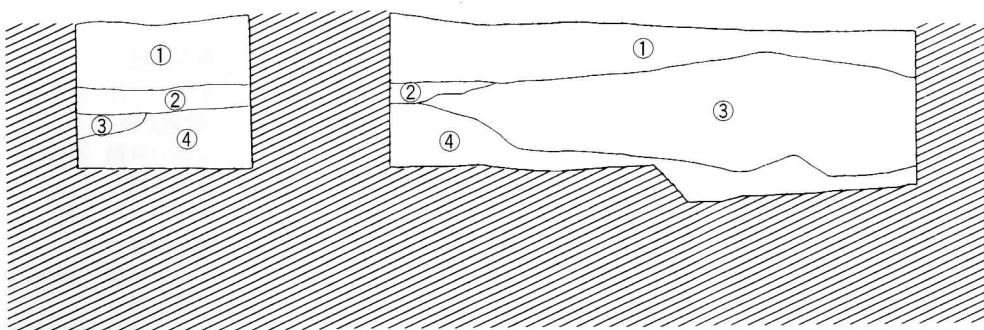


- | | |
|--------|----------|
| ①耕作土層 | |
| オリーブ褐 | 2.5Y 4/3 |
| ②砂壤土層 | |
| 暗オリーブ褐 | 2.5Y 3/3 |
| ③砂壤土層 | |
| にぶい黄褐 | 10YR 5/4 |
| ④砂壤土層 | |
| オリーブ黒 | 5Y 3/2 |
| ⑤砂壤土層 | |
| 明黄褐 | 2.5Y 6/6 |



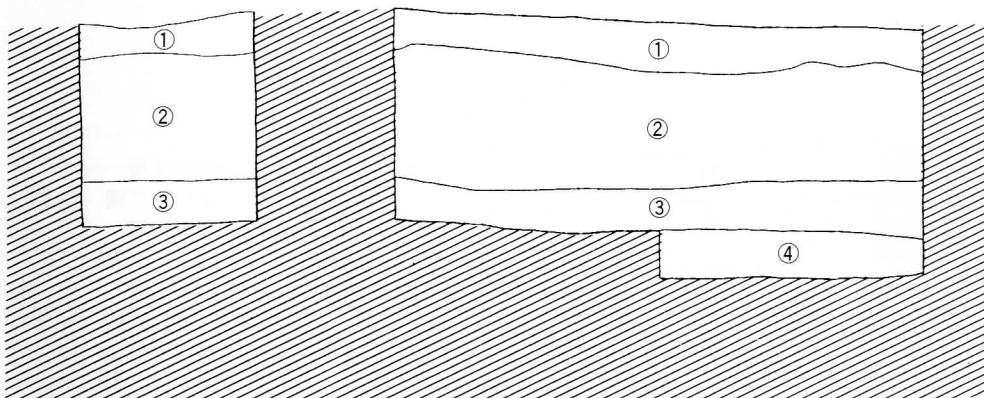
図版19 境畠遺跡土層断面図

⑬

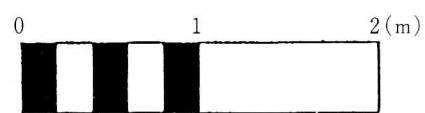


- ①耕作土層
オリーブ褐 2.5Y 4/3
②砂壤土層
暗オリーブ褐 2.5Y 3/3
③砂壤土層
にぶい黄褐 10YR 5/4
⑤砂壤土層
オリーブ黒 5Y 3/2

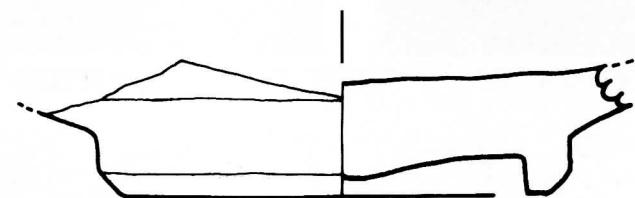
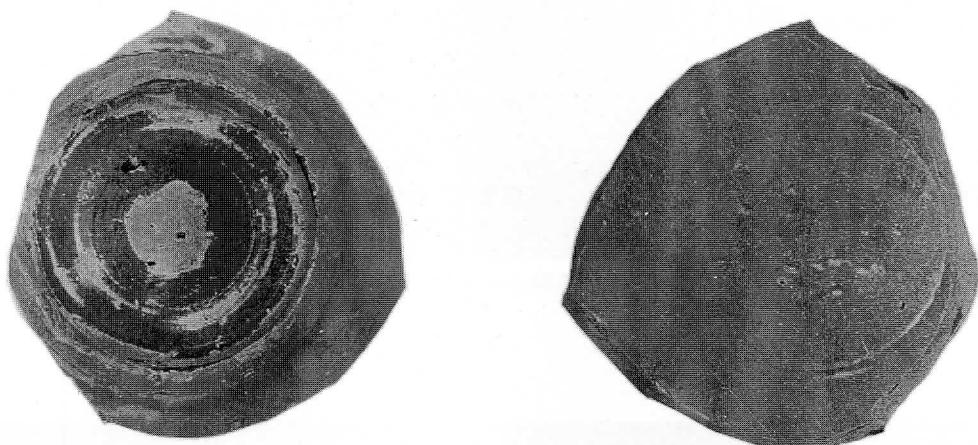
⑭



- ①耕作土層
オリーブ褐 2.5Y 4/3
②砂壤土層
暗オリーブ褐 2.5Y 3/3
③砂壤土層
にぶい黄褐 10YR 5/4
⑤砂壤土層
オリーブ黒 5Y 3/2



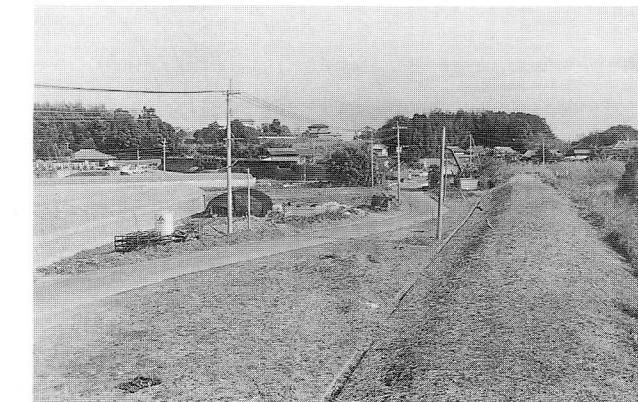
図版20 境畠遺跡土層断面図



図版21 境畠遺跡遺物写真（塊）、実測図

第4節 小牧遺跡

市町村名	佐土原町	調査主体	佐土原町教育委員会	調査担当者	木村 明史		
遺跡名	小牧遺跡		所在地	佐土原町大字下那珂			
調査原因	町道上町平小牧線整備事業		調査面積	約40m ²			
調査期間	平成13年12月18日～ 平成14年1月18日		調査後の処置	消滅			
遺跡の種別	散布地		遺跡の主な時代	-			
検出遺構	なし						
出土遺物	なし						
特記事項	当調査地は、佐土原丘陵の縁辺部南側沖積面低地に位置する。低地表層は、佐土原丘陵裾間にによって形成された谷床堆積物（泥・砂・礫）で覆われている。東側には石崎川が流れしており、立地条件としては北側の谷床堆積物と東側の石崎川氾濫にかかるので生活を営む条件としては不利といえる。						



(南西方向から撮影)



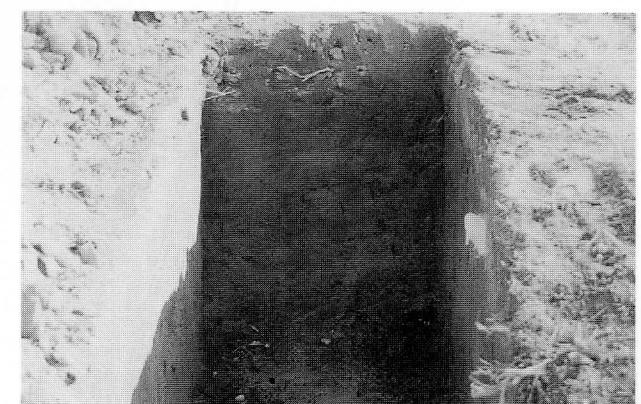
トレンチ③（南西側から）



トレンチ④（南西側から）

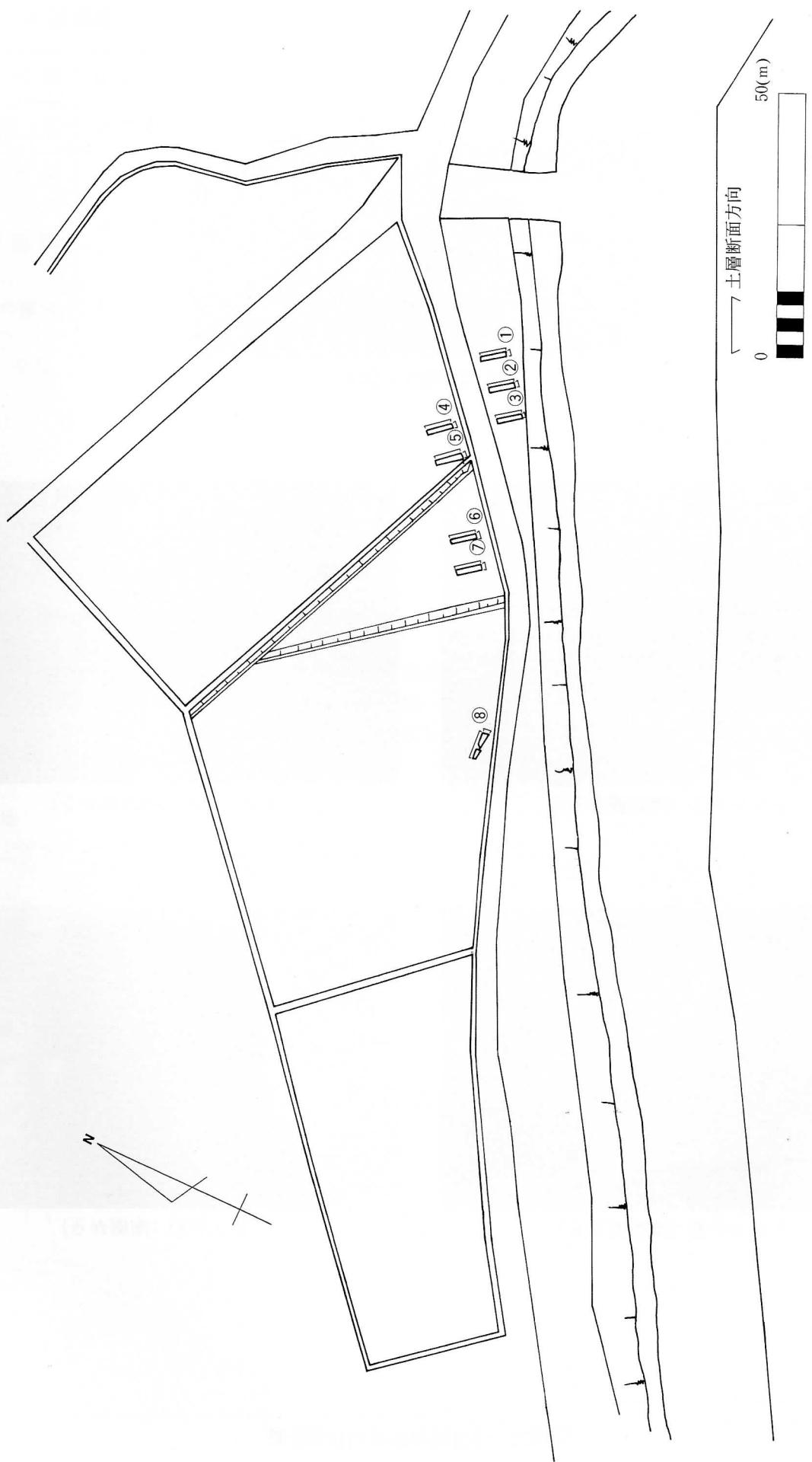


トレンチ⑥（南西側から）

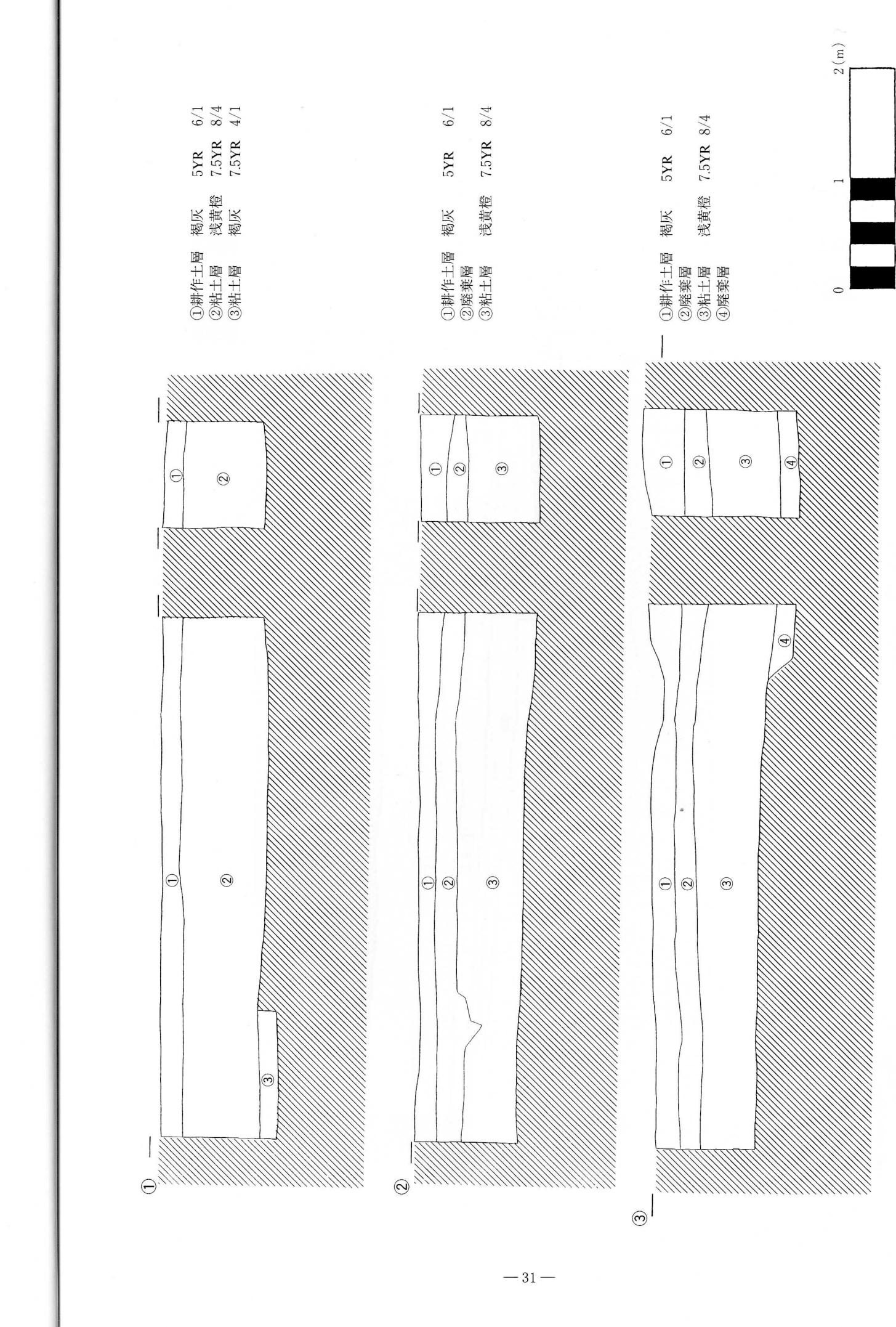


トレンチ⑧（南側から）

図版22 小牧遺跡調査地及び土層

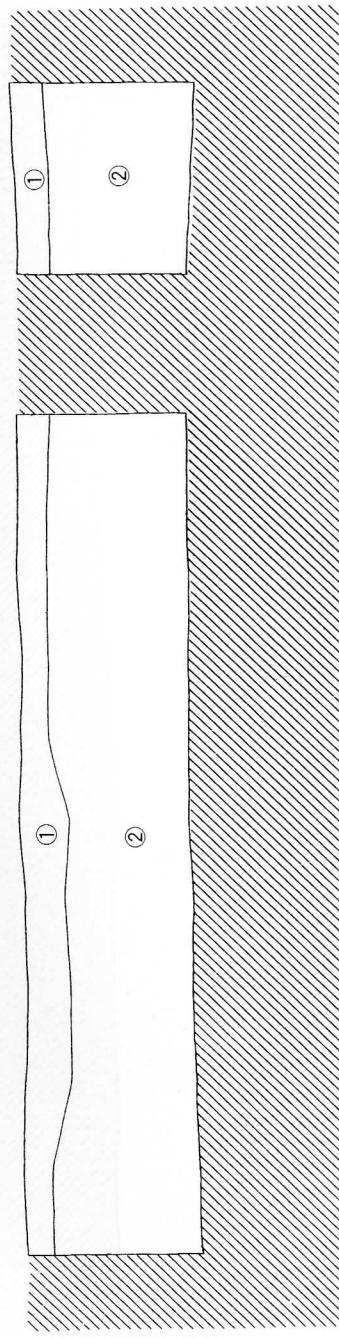


図版23 小牧遺跡調査地平面図

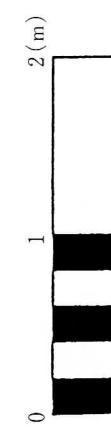
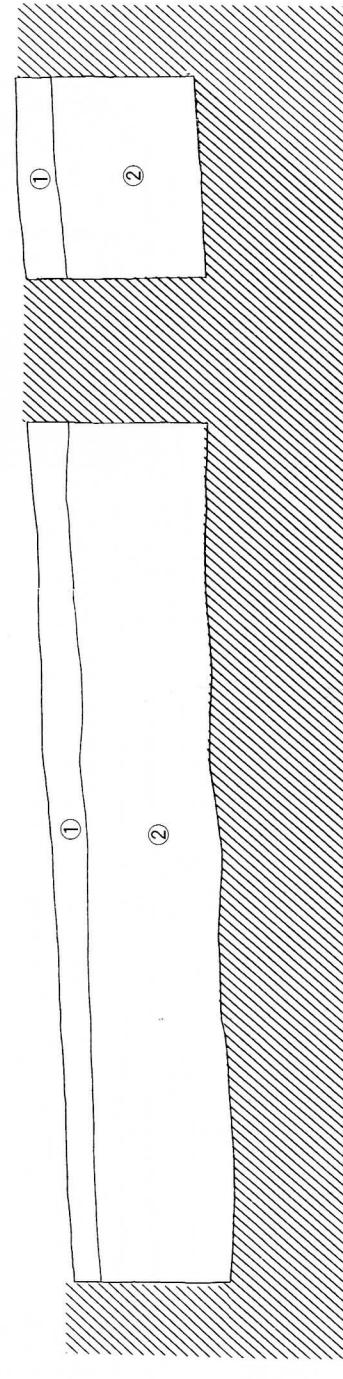


図版24 小牧遺跡土層断面図

(4) —

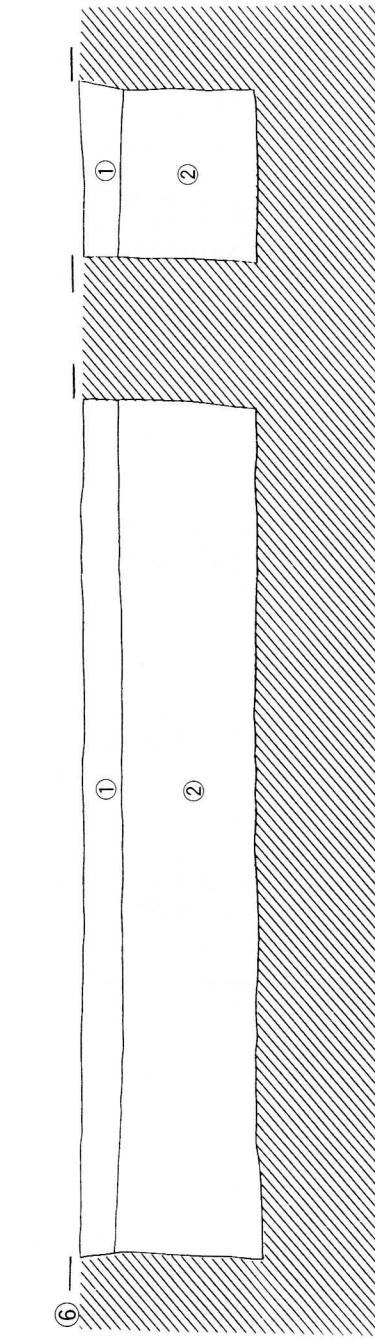


(5) —

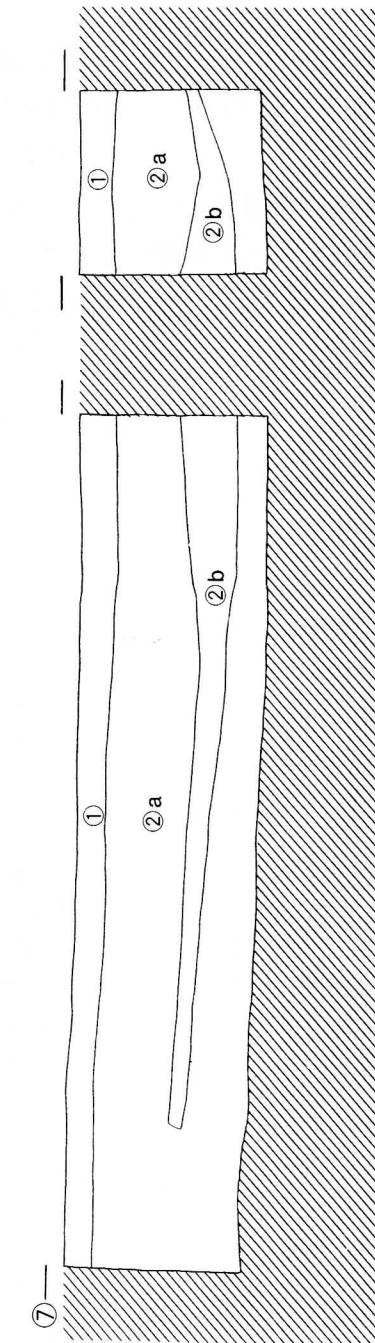


図版25 小牧遺跡土層断面図

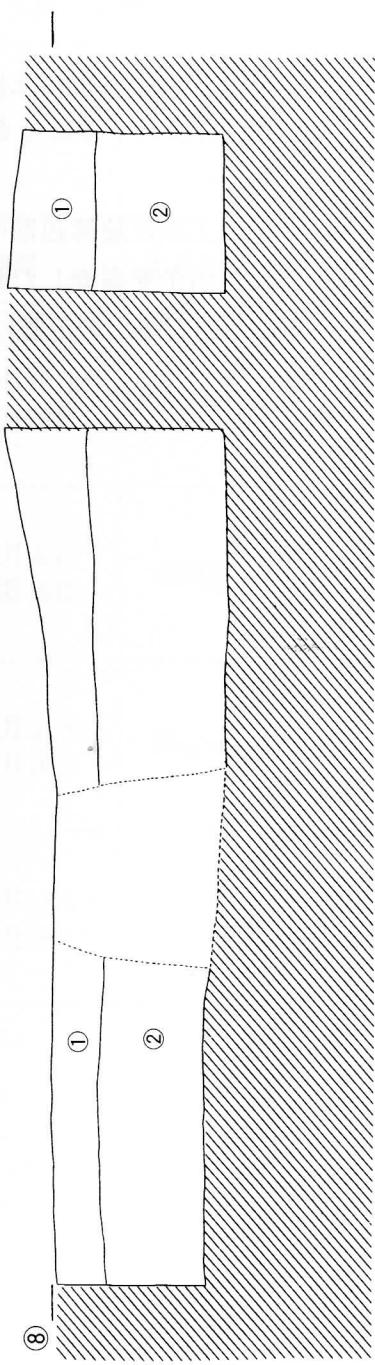
—



(6) —



(7) —



図版26 小牧遺跡土層断面図

第4章 おわりに

- 佐土原城跡外堀跡は、佐土原城下図に図示されている堀と現在ある追手川の位置が一致していることから、追手川がかつての外堀にあたるであろうと考えられる。調査では、堀の底と肩の部分を検出することは出来なかったが、これは堀の規模が現在の追手川よりも大きかったためではないかと推測される。
- 後田第3遺跡は、宝塔山の雨水が流入してくる経路にあたり湿地状態となっているため生活には不利な立地条件となっている。遺構も検出されておらず遺物も数点が散在して出土したため生活が営まれていたとは考えにくい状況にある。
- 境畠遺跡は、下村川の堆積物上に位置しており、かつては流域内に位置していたと考えられる。従って生活痕を検出することも出来ず、遺物も塊が1点出土したのみとなっている。
- 小牧遺跡は、佐土原丘陵縁辺部の南側沖積面低地に位置しており、東側を石崎川が流れている。当調査地は、前年度調査した地点よりレベルが低くなってしまい佐土原丘陵の谷床堆積物で覆われていることや石崎川の氾濫にかかるところから生活を営む条件にはないと考えられる。

報告書抄録

ふりがな	さどわらちょうないいせき 5				
書名	佐土原町内遺跡V				
シリーズ名	佐土原町文化財調査報告書				
シリーズ番号	第23集				
編著者名	佐土原町教育委員会 社会教育課文化財係 主査 木村明史				
所在地	〒880-0297 宮崎県宮崎郡佐土原町大字下田島20660番地				
発行年月日	2002年(平成14年)3月31日				
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	遺跡番号	調査期間	調査面積	調査原因
さどわらじょうせき 佐土原城跡 そとぼりあと 外堀跡	さどわらちょうおおあざ 佐土原町大字 かみたじまあざおうて 上田島字追手	90	平成13年3月19日～ 3月28日	約1,500m ²	追手都市下水路 整備事業
うしろだだい3いせき 後田第3遺跡	さどわらちょうおおあざ 佐土原町大字 かみたじまあざうしろだ 上田島字後田	1016	平成13年6月4日～ 6月18日	約93m ²	民間宅地造成
さかいばたいせき 境畠遺跡	さどわらちょうおおあざ 佐土原町大字 にしかみなかあざさかいばた 西上那珂字境畠	5010	平成13年7月2日～ 7月19日	約42m ²	民間宅地造成
こまきいせき 小牧遺跡	さどわらちょうおおあざ 佐土原町大字 しもなかあざこまき 下那珂字小牧	1031	平成13年12月18日～ 平成14年1月18日	約40m ²	町道上町平小牧 線整備事業

宮崎県佐土原町文化財調査報告書第23集

佐土原町内遺跡V

2002年3月31日

編集・発行 宮崎県宮崎郡佐土原町教育委員会
〒880-0297 宮崎県宮崎郡佐土原町大字下田島20660番地
TEL 0985-73-1111

印 刷 (有)印刷センタークロダ
〒880-0022 宮崎市大橋2丁目175番地
TEL 0985-24-4351

